

みんなの広場

公民館は令和5年に **50** 周年を迎えました。

令和5年(2023年)度 多摩市公民館 事業報告

永山公民館 / 関戸公民館



目 次

1. 施設概要.....	1
2. 事業計画・事業の記録.....	3
(1) 永山公民館事業計画（令和5年度）	3
(2) 永山公民館・事業の記録	6
1. 地域・生活課題を考える事業	6
2. 学校・家庭教育支援事業	10
3. 市民・時事問題講座事業	21
4. 地域(永山駅周辺)活性化事業	27
5. 市民文化活動支援事業	30
6. 情報発信事業（永山公民館・関戸公民館共通）	32
7. その他連携事業	33
(3) 関戸公民館事業計画（令和5年度）	35
(4) 関戸公民館 事業の記録	39
1. 地域・生活課題を考える事業	39
2. 学校・家庭教育支援事業	42
3. 市民・時事問題講座事業	47
4. 地域(聖蹟桜ヶ丘駅周辺)活性化事業	55
5. 市民活動支援事業	59
6. その他連携事業	62
3. 管理・運営	74
(1) 永山公民館施設使用状況	74
(2) 関戸公民館施設使用状況	75

1. 施設概要

多摩市内の公民館配置図

※多摩市内には公民館が2館あります



関戸公民館



京王線聖蹟桜ヶ丘駅

京王永山駅

小田急永山駅

永山公民館



(1) 多摩市立永山公民館

開 館 平成9年4月1日
 所 在 地 多摩市永山1-5(永山駅前複合施設「ベルブ永山」内)
 電 話 042-337-6661
 敷地面積 4,705㎡(民間部分含む)
 延床面積 3,761㎡
 構 造 鉄筋コンクリート造
 施設内容

多摩市立永山公民館(ベルブ永山内)							
	室 名	面 積	定員		室 名	面 積	定員
5 階	ベルブホール	226㎡	198	4 階	学 習 室	37㎡	20
	第 1 音 楽 室	84㎡	45		集 会 室	112㎡	54
	第 2 音 楽 室	22㎡	12		創 作 室	56㎡	18
3 階	ギ ャ ラ リ ー	100㎡	—		視 聴 覚 室	93㎡	48
		70㎡	32		和 室	20畳	20
	サークル活動室				第 1 保 育 室	69㎡	20
					第 2 保 育 室	69㎡	20

(2) 多摩市立関戸公民館

開 館 平成11年9月23日
 所 在 地 多摩市関戸4-72(ヴィータ・コミュニネ内)
 電 話 042-374-9711
 敷地面積 9,003㎡(民間部分含む)
 延床面積 6,242㎡/6,480㎡(多摩市施設分)
 構 造 鉄筋鉄骨コンクリート造
 施設内容

多摩市立関戸公民館(ヴィータ・コミュニネ内)							
	室 名	面 積	定員		室 名	面 積	定員
8 階	ヴィータホール	245㎡	250	7 階	ス タ ジ オ	83㎡	66
	第 1 学 習 室	76㎡	48		創 作 室	78㎡	32
	第 2 学 習 室	76㎡	48		保 育 室	55㎡	15
	第 3 学 習 室	71㎡	40		ギャラリー	102㎡	—
	和 室 1	16畳	16		ミーティングルーム	51㎡	24
	和 室 2	8畳	8				
	茶 室	49㎡	—				

2. 事業計画・事業の記録

令和5年度 永山公民館年間事業計画

～公民館は、市民同士が「つどう」「まなぶ」「おすぶ」ことを促し、
人づくり・地域づくりにつなげていきます～

市民の社会教育活動を推進するため、少子高齢化、情報化の進展などの社会的状況が変化する中、地域課題を踏まえた各種講座の実施や、市民活動への支援などを通じて、幅広く学習の機会や活動の場を提供する。

第五次多摩市総合計画第3期基本計画（令和元年6月）の基盤となる考え方「健幸まちづくりのさらなる推進」をもとに、目指すまちの姿「みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち」の実現にむけて取り組んでいく。また、多摩市教育振興プランや多摩市生涯学習推進計画、多摩市学びあい育ちあい推進審議会からの提言「多摩市におけるこれからの社会教育施設のあり方について」（令和4年2月）を踏まえ、自主的な活動を支援しながら継続した学習活動が進められるよう、行政機関をはじめ各関係機関との連携・協働を図り効果的に進めていく。

各事業の展開においては、永山・関戸両公民館の立地環境や地域性を活かしながら両館相互の連携をより強化し実施する。また、誰もが親しみやすい公民館として多くの市民に参加してもらえよう情報提供のあり方や事業形態など工夫するとともに、団体や大学等と連携を深め、社会教育の役割を推進していく。

1. 地域・生活課題を考える事業

地域の課題や、社会・日常生活において自分たちに関連する問題解決の糸口、方向性を見出せるような講座を実施する。

(1) ベルブゼミ

地域の課題、人材、学習意欲を掘り起こすきっかけとなるよう講座を企画。継続した学習から人のつながり、地域の広がりとなるよう実施する。

(2) 市民企画講座

市民団体から地域、生活課題などを見据えた企画を公募して実施支援し、市民の自主的な学習活動の振興を図り、広く学習の場を提供する。

(3) 地域課題講座

地域の拠点施設であるコミュニティセンター等との連携で、地域にある課題を共有し、人づくり地域づくりにつながるよう実施する。

2. 学校・家庭教育支援事業

安心して子育てができるような内容の講座や主に小中学生を対象にした講座等を、学校や地域、市民団体と連携を図りながら実施する。

(1) 子育て支援講座

子育ての不安、悩みを参加者同士が共有できる場づくりとともに、自分自身の生き方についても考え、継続して学習することを通して、ネットワークを作っていく機会とする。

(2) 保育室開放デー

保育室を開放して、ゆったり過ごせる場を提供し、乳幼児とその親同士の交流とともに、子育てに関する情報や地域の情報などを広く提供する。

(3) 子育てつどいの広場

コーディネーターが常駐し、安心して集い交流できる場をつくとともに、市内で活動する団体や保育園などとも連携し、さまざまな情報の提供を含め地域の子育て環境の充実を図る。

(4) 小学生対象科学等体験講座

主に小学生を対象に、地域の人材や大学生を講師として、学校や家庭では体験することが難しい専門的な講座や、親子や多世代が交流できる講座を通して、経験や知識・視野を広めるきっかけをつくる。

(5) 学校や地域と連携した事業

公民館施設を活用したりイベントなどの場を通じて児童・生徒の学習成果を紹介していく。また、学校のカリキュラムで地域を学ぶ総合教育などに協力していく。

(6) 小学校 PTA 連絡協議会(小 P 連)共催事業

小 P 連が企画運営する事業を共催して実施し、小学生や保護者に広く公民館を知ってもらうとともに、小 P 連との関係づくりをはじめとして家庭の教育力向上を目指す。

(7) 家庭教育学級・家庭教育講座

子どもたちの豊かな心を育成していくために、保護者に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識を学ぶ機会をつくり、家庭の教育力向上を目指す。

(8) 職場体験等の受け入れ

市内中学生の職場体験や、事業へのボランティアの受け入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ機会をつくる。

3. 市民・時事問題講座事業

時事的なテーマや生活・文化に即した講座等を開催することで、市民の学習意欲や意識の向上を図り、公民館未利用者層へもアプローチしていく。また、障がい者など多様性を尊重した視点を大切に、人権啓発に努めていく。

(1) 障がい者青年教室

障がいを持つ青年を対象に、余暇の仲間づくりや社会参加への一歩を踏み出すきっかけをつくる。

(2) 人権について考える講座

人権の大切さについて学び考える機会になるよう、関係機関と連携して啓発していくことで、誰もが個性と多様性を尊重しながら地域活動や日常生活の中での実践等に結びつけていく。

(3) 市民講座

その時々課題をタイムリーに捉え、さまざまな角度で課題を見つめていく機会を設け、市民の学習意欲の向上を目指す。また、市民生活に身近なテーマを取り上げ、生活・文化の知識を楽しく深めあうことで、地域での豊かな実生活に結びつけていく。

4. 地域(永山駅周辺)活性化事業

永山駅周辺地区の活性化を図る事業を、公民館、消費生活センター、図書館、及び民間商業施設、市民団体等との協働により実施する。まちの賑わいとともにより地域づくりに寄与する。

(1) 永山フェスティバル

2023年9月開催 第24回目となり、これまでの実績を踏まえつつ、更に地域の発展へつながるような工夫を盛り込み開催。

(2) 地域イベント協力事業

・ふるさと映画上映会 ・こいのぼり掲揚 ・クリスマスイルミネーション点灯 など

5. 市民文化活動支援事業

さまざまな分野の文化芸術で、市民が主体となって企画や運営する催しに協力し、広く定着し活動が活発になるよう、市民の実行委員会に会場提供等の支援をする。

(1) サロンライトコンサート

出演者を公募形式で募集し、クラシックやジャズ、邦楽などさまざまな分野のコンサートを月1回開催し、身近な場所で音楽に親しみ気軽に楽しんでもいただく機会とする。

(2) TAMA シネマフォーラム

2023年11月開催(ほか、随時上映会を年間を通して開催)

6. 情報発信事業

市民の交流を図る公民館通信の発行で、社会教育団体の活動や公民館事業、地域での取り組みなどを紹介し、公民館未利用者層を含め新たな活動に誘うとともに、さまざまな情報媒体を通して情報を発信、提供していく。

(1) 公民館通信「たのしいまち」の発行

(2) 広報・ホームページなどでの情報提供

(3) サークル紹介カードの掲示

7. その他連携等事業

令和3年度より3年間において、東京都市長会による「多摩島しょ連携活動助成」の採択を受け、日野市と多摩市の公民館間での事業連携と ICT 活用を推進する。

(1) たま学びテラス

日野市公民館と情報共有や交流を深めながら、動画講座などの開催を検討していく。



(2) 永山公民館・事業の記録

1. 地域・生活課題を考える事業

市民企画講座

目 的：市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する。

内 容： 下表「講座一覧」参照

まとめ：計7団体の申し込みがあり、市民企画講座として実施された。

趣味を通しての生きがいづくり、ボランティア活動に繋がる物に加え、障がい者理解に関する講座などが実施された。各団体とも今後も継続的に活動していくことに意欲的であるほか、講座終了後の学びの継続希望者も報告されている。自主的な学習活動の場づくりを行う市民団体の支援に寄与できたと考える。

【講座一覧】

	団 体 名 (テーマ)	企画趣旨	講師	講座回数	参加者数 (人)
連 続	1 <u>日本スポーツウエルネス吹矢多摩市中央支部</u> (スポーツウエルネス吹矢入門講座②ーフレイル予防と ストレス発散を！ー)	腹式呼吸を取り入れたスポーツウエルネス吹矢は、障害の有無に関係なく老若男女が楽しめるユニバーサルスポーツです。この活動を通して、心身ともに健康で幸せを感じられる生活習慣を身につけることを目指す。また、市民の交流と親睦の拠点づくりを行っていきたい。	無し	5	80
	2 <u>なかま”萌”</u> (今を生きるわたしのトリセツ)	経験豊富なカウンセラーのもと、参加者同士のつながりを大切にしたいワークや語り合いにより自己理解を深め、ストレスケアを学び、前向きに生きられるきっかけとなるような学習の場を地域の女性たちに提供する、	小柳 茂子氏	5	46
	3 <u>ボランティアサークル「絵手紙くるくる」</u> (絵手紙講習会)	絵手紙がボランティアにつながることを知っていただき、絵手紙の普及のため楽しく実践を行う。希望者へは市内のボランティア先を紹介し、地域での活動につなげる。	無し	4	60
	4 <u>永山かるた会</u> (競技かるた教室)	多摩市内での競技かるたの普及振興を図る。子どもからお年寄りまで、男女を問わずかるたを取る、ということでの交流の場とする。	無し	4	6
	5 <u>ボランティアTAMA聞き書き隊</u> (「聞き書き」ボランティア養成講座)	「聞き書き」という手法、技術を楽しみながら学び、「聞き書き」作品にもチャレンジし、その概要を身につけるとともに、「聞き書き」ボランティア活動の喜びを伝える。	小田 豊二氏	4	42
	6 <u>with見えない人見えづらい人見える人と</u> (動かそうカラダ 踊る?!ココロ)	視覚障がい者の方が安心して体を動かしカラダとココロを解放すること、見える人見えない人の交流により相互理解に繋げることを目指す。	後藤 美和氏 池山 永津子氏	2	21
単 発	7 <u>びーちゃん</u> (子育て応援企画「パネルシアターとタオル遊び」)	子育て中や、子育て応援中の方々に「パネルシアターとタオル遊び」を紹介し、子育てのヒントや子育て応援の手段として活用いただけるよう開催する。	松家 まきこ氏	1	39
合 計 / 7 講 座				25	294

1. 地域・生活課題を考える事業(永山公民館)

健幸まちづくり推進室との連携事業

① 健幸まちづくりシンポジウム あなたはどう生きたいですか？

旅立ちへの備え～最期まで自分らしく生きるために～

目 的:地域課題を掘り起こす等、継続した学習から課題意識や学習意欲、地域づくり・人づくりにつながるよう様々な切り口を取り入れ開催

日 時:令和5年7月17日(月・祝)

基調講演=天本宏氏

シンポジウム=淵野純子氏、新垣美郁代氏、浜佳恵氏、天本宏氏、阿部多摩市長

対 象:どなたでも(市民一般)

人 数:132人

費 用:無料

健幸まちづくり推進室との連携事業

②大切なのは「これから」をどう生きるか ライフ・ウェルネス・ワークショップ

日 時:令和5年 9月21日「毎日の食について考える」

10月19日「加齢による身体や生活の変化を知る」

11月16日「老い」について語り合う

※いずれも木曜10:00～12:00

講 師:健康推進課(栄養士)、高齢支援課(保健師)

田中肇氏・田中紀氏(対話カフェ Tokyo～Yokohama)

対 象:どなたでも(市民一般)

人 数:延べ41人

費 用:無料

① ②まとめ: シンポジウムでは、「身体の健幸」「心の健幸」そして「家族・地域との関係」と「自らの選択」がこれからの生き方のポイントとなる、健幸まちづくりの施策を広げ進めることができた。前年度のベルブゼミ講座からシンポジウム企画を経て、終末期や「老い」についてゆるやかな学びの企画を作りたいとの健幸まちづくり推進室から要望で連続3回の講座を連携して企画。参加者にはさらに学びの機会を提供できた。他課との連携では、相互の役割を活かしながら公民館情報を市民に周知できる機会にもなり、今後もそうした連携事業に取り組んでいくことも必要だと考える。

1. 地域・生活課題を考える事業(永山公民館)

聞き書きすと養成講座

目 的:地域課題を掘り起こす等、継続した学習から課題意識や学習意欲、地域づくり・人づくりにつながるよう様々な切り口を取り入れ開催

各地で開催される「聞き書き」講座を取り上げ、地域に暮らす高齢者の生き方や知恵などを学び伝える役割、話し伝える喜び、そして世代を超えた人と人のつながり交流が生まれていることを参考に、多摩でも地域(高齢者)を見守る視点として、また世代を超えたつながりや、多摩の文化を綴っていくひとつとして広げることを目標に開催。

日 時:令和 5 年 10 月 15 日(土)10:00~12:00

塩野氏講演 「聞き書き」って何だろう?

令和 5 年 10 月 15 日(土)①13:00~15:00

21日(土)②10:00~12:00、③13:00~15:00

連続講座 やってみよう<聞き書き>

令和 6 年 2 月 11 日(日)13:00~15:00

作品の講評と報告会

講 師:塩野米松氏(作家・聞き書き)

対 象:どなたでも(市民一般)

人 数:延べ48人

費 用:無料

永山公民館 2023 年講座

聞き書きすと養成講座

～あなたも「聞き書き」になってみませんか?～

「聞き書き」とは?
ひとりの「話し手」に対して、ひとりの「聞き手」が話し手の生活や仕事の話などを聞き、その知恵や技、ものの考え方や生き方を学びながら、文章にまとめること。
「まち」にその記録を残す人＝「聞き書き」人。
作家 塩野米松氏を招き、塩野氏「聞き書き」術とともに、「聞き書き」の魅力や学びを感じ、私たちの「まち」の息吹を一緒に伝えていきたいと思います。

<講座日程>
※ 講座会と講座(連続3回)の開催です。
<講座会> 「聞き書き」ってなんだろう?
10月15日(日)10:00~12:00

<講 座> 「やってみよう!聞き書き」
① 10月15日(日)13:00~15:00
～「聞き書き」をむく～
② 10月21日(土)10:00~12:00
～話し手(ゲスト)を招き、聞き書き体験～
③ 10月21日(土)13:00~15:00
～作品発表と感想発表、作品作りについて～

※その後、時間内でできないうちの聞き書きの作品発表会と講座の感想発表については、オンライン講座で開催予定
◎講座会は定員48名、どなたでも参加できます
◎講座は定員15名、講座会の参加者、全3回の講座を受講できる方
(詳細、要項をご覧ください)

塩野米松(しのよねまつ)氏
1947年秋田県角館町に生まれる。東京理科大学理学部応用化学科卒業。作家、芥川賞候補作家。小説と職人の聞き書きを中心に執筆活動を行っている。塩野米松米松の経験であった西院書一氏やその弟子の小川三郎氏、さらにその弟子の塩野米松の聞き書き「もののはなをのこる」(新潮文庫)などベストセラーも多い。主な著書は、『米松に学ぶ』心一様(ちくま文庫)、『おにぎり』(小学館)など。絵本『なつめ』(絵・村と憲治)で日本絵本大賞。

まとめ:2020年から22年に3か年計画で企画開催した「聞き書き」講座を経て、一昨年生まれたアフターグループのメンバーも含め参加があった。アンケートからは聞き書きポイント「聞く姿勢」「リスペクトな気持ち」「聞き手の質問・会話」などあらたな学びが得られ、今後の聞き書き活動への幅が広がると同時に、継続した活動の意欲も向上したことが伺われた。

この「聞き書き」については、期間中にパルテノン学芸員より市史も含めて話を聞いてもらいたい人がいる、今後何かできればという声もあり、そうした切り口をもとに活動の継続や取り組み方も考えられ、今後の「聞き書き」の広がり期待したい。

1. 地域・生活課題を考える事業(永山公民館・関戸公民館共催)

笑いヨガ講座

目 的:地域課題を掘り起こす等、継続した学習から課題意識や学習意欲、地域づくり・人づくりにつながるよう様々な切り口を取り入れ開催

地域・生活の課題を解決するため、地域施設、関係機関と公民館とが協力し、地域に横たわる課題を見出し、住民とともに考えていく場として開催。主にコミュニティセンターと共催し、地域の情報やニーズなど、共催ならではの地域性や職員と相互の関係づくりなども含めた情報収集などから、講座を企画し、地域住民が学び交流できる機会をも作る。

日 時:①令和6年3月28日(木)13:30~15:30

貝取こぶし館

②令和6年3月29日(金)10:00~12:00

関・一つむぎ館

講 師:岡井裕美氏(笑いヨガティーチャー・看護師)

対 象:どなたでも(市民一般)

人 数:①30人 ②27人

費 用:無料

まとめ:今回は年度末ではあったが、コロナ禍以降連携のできなかったコミュニティセンターへ「笑いヨガ」講座を持込企画として提案、2館のコミュニティセンターへ出向き開催できた。コロナで人との交流や地域に出向く機会の少なくなった独居の高齢者をはじめ、多くの参加者にとって「笑いヨガ」の笑いは身体や脳の活性化とともに、顔と顔の見えるつながりのきっかけとなり、アンケートでも「また参加したい」「実施してほしい」との声もあり好評だった。

地域の拠点施設であるコミュニティセンターとの連携は、公民館として地域課題を掘り起こす糸口ともなるなど、引き続き関係性が継続できるよう取り組めるとよい。



2. 学校・家庭教育支援事業

0歳からのクラシック♪

目 的：乳幼児と保護者を対象にヴァイオリンとピアノによるコンサートを開催した。こどもの情操を養うこと、子育て中の保護者にリフレッシュの時間を提供することを目的とする。

日 時：令和6年3月1日（金曜）10:00～12:00

演 奏：城所 素雅さん（ヴァイオリン）、中川さおりさん（ピアノ）

対 象：0歳～未就学児とその保護者

人 数：参加 120 人（子ども 57 人、大人 63 人）

費 用：無料

まとめ：泣いても立ち歩いてもOK、常時扉を開放し途中の入退場も自由とし、親子で気兼ねなく音楽を楽しめる雰囲気を大切に開催した。本年度は、小さな子どもも飽きないよう、途中リトミックも取り入れ、クラシックのみならずディズニーの曲也多めに演奏していただいた。アンケート結果からも、満足度は高く、親子ともども音楽を楽しんでいたことが伺われた。また、はじめて公民館を利用した参加者も多く、若年層への公民館事業の周知、利用促進の一助ともなったと考える。



2. 学校・家庭教育支援事業（永山公民館）

保育室開放デー

目 的：保育室を開放して、ゆったりと過ごせる場の提供や、乳幼児とその親同士の交流と共に、子育てに関する情報も広く発信。

日 時：4月17日・5月15日・6月19日・7月10日・8月21日・9月11日・10月16日・11月20日・12月18日・1月15日・2月19日・3月18日
※時間は 10:00～12:30、13:30分～16:00（全12回）

出 演：音楽人形劇サークルぽぽたん、ぴっぴちゃん&ピーちゃん（パネルシアター）

対 象：未就学児とその保護者

人 数：延べ 156 人

費 用：無料

まとめ：ここ数年のコロナ禍による保護者の行動様式の変化もあり、利用者数は伸び悩んでいたが、市内で活動する市民団体の協力依頼でミニイベントを年2回実施し、親子が楽しめる場を提供することができた。また、ミニイベントを開催することで、公民館保育室の PR もできたと考える。次年度は、コロナ禍で中止していたランチタイム（持ってきたお弁当などを食べるコーナーの設置）の復活、制限していたおもちゃの数を増やすなど、コロナ以前の運営方式に戻して利用者の拡大を図っていく。



2. 学校・家庭教育支援事業（永山公民館）

子育てつどいの広場「ぴ～かぶ～」

目 的：乳幼児から未就学児までの子育て期の親子を対象に、地域で安心して自由に過ごせる遊びの場を定期的を開催することで、日頃の子育てに対する不安や悩みを話せる場づくりを目的とする。

日 時：原則第 2・第 4 木曜日の全 24 回
10:00～12:30 分 / 13:30～16:00 4月のみ
5 月から飲食および上記ランチタイム再開

講 師：市民協働指定委託事業受託者（NPO 法人多摩子ども劇場）

対 象：乳幼児とその保護者、プレパパ・プレママ

人 数：延べ 242組 625人（大人 311人、子ども 314人）

費 用：無料

まとめ：今年度はコロナ禍で制限していたお昼の利用や、夏の屋上プールも再開して実施できたことで、前年度より参加者も増え、中でも初めて利用の参加者の割合が全体の3割を超えた。そうした初めて利用の参加親子には、今後の利用継続につながるよう声掛けや参加者同士の交流なども意図した声掛けを、常駐コーディネーターである受託団体は工夫し運営していた。

また、開催日には市内保育園の協力でミニイベントも実施し、参加者には地域保育園の情報を知ることができるとともに、気軽に子育ての悩みなどを相談できる機会にもなり、来場している時間ゆったりと過ごせる場の提供もできた

2. 学校・家庭教育支援事業（永山公民館）

小学校 PTA 連絡協議会連携事業

目 的：多摩市立小学校 P T A 連絡協議会（以下小 P 連）との共催により講演会を開催。家庭での何気ない会話の中で、人と違うことを悪いことの様に子供達に伝えてしまっていないだろうか。多様性への理解について、親としてどう伝えるか、その心構えや違いを認め合う事の大切さについて考え、親は子に何をどのように伝えたらよいかを学ぶ機会とした。

日 時：令和 6 年 1 月 16 日（火曜）9:30～11:30

テーマ：「何があっても大丈夫」を土台に自己肯定感と安心感を育む

講 師：青木千景さん（バースコーディネーター他）

対 象：小 P 連保護者ほか一般市民

人 数：受講 50 人

費 用：無料

まとめ：命がどう生まれてくるのか、生命の誕生をわかりやすく学びながら、その時の母親（自分）の気持ちはどう感じたかなど、親から子へ語り続けることで、子どもは自分が愛されている大切な存在だと受け止めていく。日常生活の中で温かい言葉、スキンシップの心掛けが子どもの生きる力の源となり、家庭の中で子どもの自己肯定感が育つことを学ぶことができた講演会であった。

子どもだけでなく、親自身の自己肯定感を一緒に高めていける機会として、今後も小学校 P T A 連絡協議会のニーズにあわせた事業へ協力していくことで、家庭の教育力の一助になればと考える。

2. 学校・家庭教育支援事業（永山公民館）

小学生体験講座(夏休み編)

目 的：学校や地域では実施しにくい専門的、ユニークな講座を長期休み期間に実施し、こどもたちの創造性や知的好奇心、意欲を育むきっかけとなることを目的とする。

対 象：主に小学生（2年生以下は保護者同伴）

人 数：① 受講 7人 ② 20人 ③15人 ④16人

	日時	内容	費用	講師
①	8月1日(火) 10:00～12:00	【小枝や木の実を使って作って遊ぼう】森の手入れで出た端材を材料に、ペンダント、額縁などを制作。のこぎりの使用体験、積み木など自然遊びコーナーも設けた。	200円 (材料費)	永山南公園きりんの会
②	8月4日(金) 10:00～12:00	【アートな服を作って遊んじゃおう】用意された多種多様な素材の中から材料を選択、切ったり貼ったり縫い合わせたり、自由な発想で服を作った。	無料	鈴木美耶子さん (元美術教諭)
③	8月7日(月) 10:00～12:00	【ゆれとお水にひそむナゾ】水と振動をテーマに、実験、工作を行った。	300円 (材料費)	東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CASTメンバー
④	8月2日(水) 8月10日(木) 10:00～12:30 13:30～16:00	【競技かるたを体験！】小倉百人一首を用いた競技かるたを体験、ゲームの方法を学んだ。	無料	永山かるた会

まとめ：子ども、保護者共に総じて満足度が高く、当初の目的は達せられたものと考ええる。(添付、アンケート集計参照) 今回のアンケートを参考に、来年度以降も地域の方々の協力を仰ぎながら、公民館ならではのユニークな講座を開催したい。

◆小枝や木の実を使って作って遊ぼう



◆アートな服を作って遊んじゃおう！



◆東大 CAST の科学講座・ゆれとお水にひそむナゾ



◆競技かるたを体験！



2. 学校・家庭教育支援事業(永山公民館)

こども対象体験講座(秋)「親子で作る和菓子講座」

目 的:学校や地域では実施しにくい専門的、ユニークな講座を長期休み期間に実施し、こどもたちの創造性や知的好奇心、意欲を育むきっかけとなることを目的とする。

日 時:令和5年11月18日(土) 13:00~15:00

講 師:村磯正二さん

(和菓子工房いずみ店主 / 製菓衛生士、和菓子一級技能士、職業訓練指導員)

対 象:小学生(4年生以上)とその保護者

人 数:受講 8組16人

費 用:800円(材料費)

まとめ:過去の参加者アンケート〈参加してみたい講座〉の上位に料理・お菓子作りがあったこと、和菓子作り体験の場は少ないことから企画した。総じて満足度は高く、教え・教えられながら、親子の時間を楽しんでいた様子が伺えた。今回は、中学生の参加のあったこと、男子の参加も一定数あった。これまでは低学年の参加が中心であったが、4年生以上と対象を絞ったことにより高学年の参加がしやすくなった面もあるかと考える。また、親子講座とすることで、若い保護者世代の公民館講座への参加のハードルを低くすることができるのではないかという感触を得た。今後の講座企画につながるものとなったと考える。



2. 学校・家庭教育支援事業(永山公民館)

こども対象体験講座(春休み編)

目 的:学校や地域では実施しにくい専門的、ユニークな講座を長期休み期間に実施し、こどもたちの創造性や知的好奇心、意欲を育むきっかけとなることを目的とする。

日 時:3 月 27 日(水)13:30~15:30

講 師:東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST

対 象:主に小学生(2 年生以下は保護者同伴)

人 数:子ども 46 人、大人(保護者)40 人 合計 86 人

費 用:200 円(材料費実費)

まとめ:例年 CAST の科学講座は大人気。子どもたちにとっては、お兄さんお姉さんの学生たちの講師も親しみやすい雰囲気なのだろう。アンケートでも子どもたちからは「すごい事を知ったから自慢したい」「空気砲をみて自分もやってみたいと思った」「光と空気の実験がすごく楽しかった」「初めて知ったことがたくさんあって勉強になった」「クイズは成功して嬉しかった」など、楽しかった様子が伺えた。また、保護者からも「分かりやすく子どもに合わせてくれた」「子どもも大人も不思議なことがいっぱいあり楽しかった」「定期的に東大 CAST の実験を開催してほしい」「科学に興味を持ち始めていたので、近場で見ることができ、ありがたかった」など、好評だった。こうした興味を持ち始める時期の子どもたちに、意欲や好奇心を後押しする体験講座は、親子の関係性をも作るうえで今後も継続して開催していきたい。



2. 学校・家庭教育支援事業（永山公民館）

家庭教育学級・家庭教育講座

目 的：子どもたちの豊かな心を育成していくために、保護者や子ども達に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識等を学ぶ機会をつくり、家庭の教育力向上を目指す。

対 象：保護者、親子、家庭教育に関心のある地域の方

人 数：延べ 552 人

費 用：無料

まとめ：今年度、コロナ禍要因等のため申請がなかった小中学校から希望が相次いであり、特に輪番校だけでなく希望校の申請受付を決定した。小学校 3 校、中学校 3 校。また NPO 団体 1 件、児童館講座 3 件も実施。多くの保護者や地域へ家庭教育で課題となるテーマについて学びの機会を提供することができた。児童館の救命救急講座は昨年度同様、父親対象で PR することで、男性参加もあり好評だった。

	日時	内容	講師
1	5 月 2 日(火) 10:00～12:00	みんな虹色、認め合うには 知ることから	星山麻木氏（明星大学教育学 部教授）
2	6 月 27 日(火) 14:30～16:30	中学生の子育て講座～不登 校となった子どもと向き合 う時に大切にしたこと	吉本恵子氏（国立あおやぎ苑 立川相談員）
3	9 月 16 日(土) 14:00～15:30	みんな違ってあたりまえ～ 自分を知り相手を知り、認 め合える世の中に	星山麻木氏（明星大学教育学 部教授）
4	1 月 26 日(金) 14:45～16:45	L G B T Q + について	鈴木茂義氏（L G B T Q + セ ンタープライドハウス東京）
5	2 月 3 日(土) 9:30～11:00	子どもが学校に行きたくな いと言ったら、親はどうす ればよいか？	福田憲明氏（明星大学教育学 部教授）
6	3 月 7 日(金) 13:30～15:30	健康教育及び学校保健委員 会	野井真吾氏、鹿野晶子氏（日本 体育大学教授）

7	9月16日(土) 14:00~16:00	親子で学ぶからだと心と命 の話し 自分を大切に生きる ために	土屋麻由美氏(助産師)
8	9月30日(土) 14:00~15:30 令和6年2月10日(土) 10:00~11:30 3月2日(土) 10:30~12:00	救命救急講座	曾根悦子氏(国士舘大学防災・ 救急救助総合研究所講師)

※家庭教育講座

1~6: 小中学校(連光寺小学校、瓜生小学校、永山小学校、鶴牧中学校、東愛
宕中学校、和田中学校)

7: NPO(NPOそらいろのたね)

8: 児童館(落合×唐木田、一ノ宮×桜ヶ丘×連光寺、永山×諏訪)

2. 学校・家庭教育支援事業（永山公民館）

職場体験の受け入れ事業「未来を拓く職場体験」

目 的：持続可能な社会づくりに向けた人づくりに寄与するために「多業種・多職種」が運営する「多様な市民の学習や活動を支援する公共の拠点施設」として、「将来の社会人」である中学生に望ましい社会性・勤労観・職業観を育成し、自らの生き方を考え、自立や社会参加を促すことを目的とする。
体験の中で、公民館利用者の学習意欲や人と人とのふれあいなどを直に感じることで、生徒が自らの進路や生き方を考えるきっかけを得る機会とする。

日 時：①令和5年10月3日(火)～10月4日(水)9:30～15:00
②令和5年11月7日(火)～11月9日(木)10:00～15:00
③令和6年1月23日(火)～1月25日(木)9:30～15:00

学校名：①鶴牧中学校 第2学年
②諏訪中学校 第2学年
③聖ヶ丘中学校 第2学年

人 数：①4人
②6人
③9人

まとめ：実際に窓口に立ち、利用団体をはじめとする多くの利用者への対応を経験してもらうことができた。また、ベルブ永山という建物を設備面から管理している方から機械室内に案内いただき、どんな役割があるのか等説明を受け、様々な設備を見学、さらに、舞台技術業務である照明機材等の設置や操作を体するなど、多くの職業体験を提供することができた。
このような施設を運営していくには、表から見えない部分にも重要な役割を担う仕事があり、成り立っていることを理解してもらう機会を設けることができた。中学生が将来の方向性を考える際のひとつのヒントとなるよう、今後も受け入れを継続していく。

3. 市民・時事問題講座事業

障がい者青年教室

目 的:主に知的障がいがある青年さんたちの余暇活動の場として開催している。
創作活動やスポーツ、野外活動、文化活動(音楽鑑賞・リトミック・体操)等を行う中で、仲間やボランティアとの交流を通して人との関わり、自律、お互いを認め合う共生の心などを学ぶ。

日 時:5月28日、6月25日、7月23日、9月3日、10月22日、11月19日、12月17日、2月11日、3月10日 (いずれも日曜日)

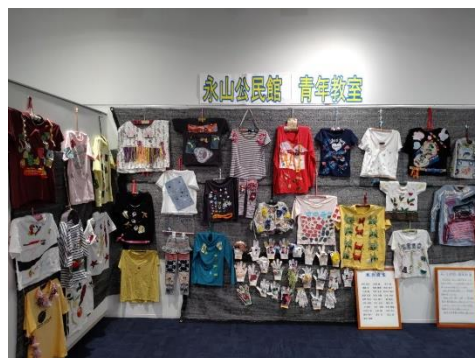
講 師:鈴木美耶子さん(青年教室ボランティア、元美術教師)、ベルブプラスバンド、上村明子さん(リトミック講師)、多摩市スポーツ推進委員

対 象:主に知的障害のある方

人 数:296人(青年 210人、ボランティア 86人)

費 用:無料

まとめ:青年教室を楽しみにしている参加者も多く、地域の居場所の一つになっていることが伺われる。障がいのある人も無い人も共に地域で生きる心のバリアフリー構築の一助ともなるべく、「来て楽しかった」を大切に、次年度以降も運営していきたい。今後の課題としてあげられることは、青年教室発足当初からの参加者が多く(40代後半～50代前半)、ボランティアもシニア層がほとんどで全体の年齢が上がってきていることがある。野外活動が難しいなど、活動に制限もでてきているため、メンバーの固定化をどう考えるか、若・中年層のボランティアの確保など、青年教室のあり方も含めて考えていく必要があると考える。



3. 市民・時事問題講座事業(永山公民館)

人権について考える講座

目 的:ひとりひとりがあらためて人権の大切さについて学び考え、個性と多様性を尊重しながら、地域での実践に結びつける

日 時:令和6年3月20日(水)13:30~15:40

ゲスト: 齋藤一男監督、浅川素子さん(そらくん、たからくんのお母さん)、
そらくん、たからくん

対 象:どなたでも(市民一般)

人 数:12 人

費 用:無料

まとめ:参加者の中にはお子さんに障害のある方、ご自身に障害のある方、障がい者支援をされている方等、少ない人数ではあったが様々な立場の方が参加され、記録映像に映し出され日常生活の中で自然な形で多くの人と関わる浅川さん親子の様子に、共感できた時間だった。交流会では、感想のほかにも社会の在り方、親として子どもへの接し方、子どもの成長をどう見ていくのかなど、今、まさに考えていかななくてはならないインクルーシブ社会(教育)も含めて、多くの質問とそらくんたからくんへの声掛けもあり、記録映画鑑賞後の交流会は和気あいあい進めることができた。



3. 市民・時事問題講座事業(永山公民館)

時事・現代課題講座「SDGsパネル展」

目 的:市民生活において必要な時事問題、生活文化等について学習し、知識を深め今後の生活に結びつける。

SDGs(持続可能な開発目標)は、2016 年から 2030 年の 15 年間で達成すべき「世界共通の目標」として、貧困・健康と衛生・エネルギー・環境・平和など 17 種類の目標が提示されている。2023 年は取組開始から折り返しの年でもあったことから、改めて 17 の目標を確認する機会とした。

日 時:令和6年3月26日(火)～31 日(日) 9:00～17:00

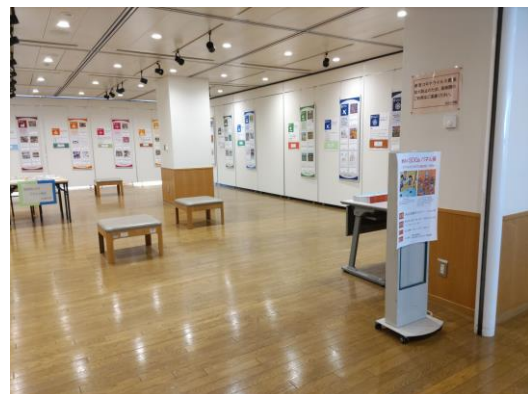
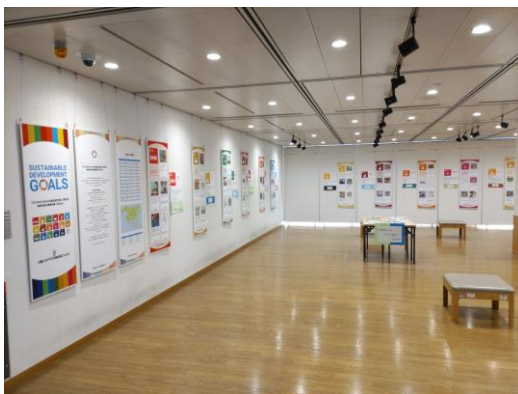
対 象:どなたでも(市民一般)

人 数:延べ 87 人

費 用:無料

協 力:三菱広報委員会 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟(パネル提供)

まとめ:春休みの期間を利用してパネル展示という形で SDGsへの関心を深めるきっかけとして開催した。持続可能な開発目標を分かりやすく説明したものに加え、アジアの子どもたちがその目標について書いた絵日記のパネル展示のほか、興味を持ってもらえる工夫として、17 の目標に関するクイズや自分ができること、やってみようと思った目標にシールを貼ってもらうコーナーを設置し、SDGs への関心を高めるきっかけとした。また、図書館の協力で SDGs に関する書籍の展示も行った。



3. 市民・時事問題講座事業(永山公民館)

市民講座「はじめての資産運用講座」

目 的：資産運用の概要や各種商品の説明、運用可能額の算出方法などを伝え、実際に自分の資産の状況に合わせた演習を行うことで、多くの人が資産運用のはじめの一步を踏み出せるようなきっかけとなることを目的とした。

日 時：令和 5 年 6 月 17 日(土) 14:00～16:00

講 師：石村 衛さん(金融広報アドバイザー)

対 象：市内在住、在勤、在学者

人 数：受講 10 人

費 用：無料

まとめ：参加者の資産運用へのアンテナの高さを感じることができ、特に、令和 6 年から開始される新 NISA やiDeCo等の税制優遇制度への興味の高さが読み取れた。今後も NISA やiDeCoの制度移行に伴い、資産運用についての情報のニーズの高まりが予想されるため、そのニーズに応えることができるような講座の実施を検討していきたい。

3. 市民・時事問題講座事業(永山公民館)

市民講座「やわらか音楽講座～ピアノで巡る季節の旅(夏編)」

目 的：ピアノによる生演奏と曲目解説を交えた講座を開催。市民の一般文化教養向上を目的とする。

日 時：令和5年8月26日(土) 14:00～16:00

講 師：風呂本佳苗さん（ピアニスト、NHKカルチャー特別講座講師）

対 象：市民（未就学児不可）

人 数：受講 22人

費 用：無料

まとめ：昨年度、秋、冬、春、と、開催月の季節に因んだ曲を集めたプログラムで実施した。今回で四季全てを網羅しピアノで巡る季節の旅は完結したが、毎回、申込初日にほぼ定員に達するという人気講座となった。良く練られたプログラム、豊富な知識と穏やかな語り口など、講師の力量による所大と考える。音楽は心の栄養。市民の日々の生活に彩りと癒しを加えるものとして、また違った切り口での音楽講座の企画も本講師に協力を仰ぎ考えたい。



3. 市民・時事問題講座事業(永山公民館)

市民講座「はじめての NISA 講座」

目 的：昨今、その重要性が叫ばれている資産運用であるが、制度の複雑さやリスクの不透明さへの不安などの要因で始めるきっかけを作りづらいと感じる人が多くいる現状があることから、令和6年に開始する新NISAに焦点を当てた内容とし、新制度の理解促進を図る。

日 時：令和5年6月17日(土) 14:00～16:00

講 師：石村 衛さん（金融広報アドバイザー）

対 象：市内在住、在勤、在学者

人 数：受講10人

費 用：無料

まとめ：参加者の新NISAへのアンテナの高さを感じることができた。ステップアップ講座の要望も見られたが、あくまでも資産運用のはじめの一步のための初心者向け講座の範囲内で、今後も実施を検討していきたい。

4. 地域(永山駅周辺)活性化事業

永山フェスティバル

目 的：永山駅周辺の活性化と地域住民、市民団体等の交流促進や市内の施設間連携、賑わいのある街づくりを目的に、永山公民館と永山駅に隣接する商業施設を会場として、市民・行政・民間事業者の協働により実施。

日 時：令和5年9月23日（土曜・祝）～24日（日曜）

対 象：どなたでも

人 数：54,741人(各会場での来場者の延べ合計)

まとめ：屋内外4か所のステージでは、音楽・舞踊などのパフォーマンス、ベルブ永山館内（永山公民館・消費生活センター・永山図書館）とグリナード永山（2階つばき広場・どんぐり広場）では体験コーナーや展示・コンサートなど、子どもから高齢者まで楽しめるプログラムが開催された。

飲食やフリーマーケットは4年ぶりに再開。出店者を募り多くの団体が参加し、イベントを盛り上げる一助となった。またエコプラザの協力のもと、リユース食器の積極的な活用を呼び掛けた結果、環境に配慮した飲食提供が出来た。その他、会場内にはスタンプラリーコーナーを設置し、来場者が各会場を回遊して楽しんでもらえるように誘導でき、子どもたちを中心に楽しんでもらえるような縁日の企画を実施した。

4年ぶりコロナ禍以前同様の開催となり、出演団体にも見せ方を検討してもらうことで多様なジャンルのパフォーマンスを披露することができたのが、来場者が増えた要因の一つであると考えます。子ども向けのスタンプラリー・縁日も盛況を見せ、多くの方に参加していただけた。



4. 地域(永山駅周辺)活性化事業(永山公民館)

地域イベント協力事業 こいのぼり掲揚

目 的：隣接する事業所（グリナード永山会）と一体となって、季節に合わせた行事等で関連する装飾やPRなどを行い、地域の賑わいづくりを目的とする。

日 時：令和5年4月20日～5月7日 18日間

まとめ：館内に（談話コーナースペースおよび保育室前の通路）大きなこいのぼりを掲揚し、5月の子どもの日に向けた季節感を醸し出した。

地域イベント協力事業 イルミネーション

目 的：隣接する事業所（グリナード永山会）と一体となって、季節に合わせた行事等で関連する装飾やPRなどを行い、地域の賑わいづくりを目的とする。

日 時：令和5年11月4日～令和6年2月14日 103日間

まとめ：隣接する事業所の屋上広場とともに、公民館のテラスにかけてクリスマスイルミネーションを装飾し、期間中は親子や若い世代から高齢世代まで、地域の憩いの場となっていた。



4. 地域(永山駅周辺)活性化事業(永山公民館)

地域イベント協力事業 ふるさと多摩映画上映

目 的：多摩（人・街並み・歴史・自然など）を舞台にした映画を上映することで、私たちの住む多摩により関心と愛着を持ってもらうことを目的として開催した。

日 時：令和5年4月26日（水曜）、27日（木曜）

対 象：どなたでも

人 数：168人

費 用：無料

上映作品：①変貌する多摩～村から市へ～
②たぬきがいた
③10年後の君へ

まとめ：平成27年から実施している「ふるさと多摩映画上映」。ニュータウンの歴史とともに、住民も入れ替わり世代が交代していく中、映像に映るかつての多摩での生活の営み、ニュータウンの歴史を作ってきた入居者の地域活動の広がりなど、記憶の中に残しながら継承していくことの必要性を感じる声が多数あった。



5. 市民文化活動支援事業

サロンライトコンサート

目 的：地域で気軽に生の音楽を演奏、鑑賞する機会を提供し、市民の文化余暇活動発展、心身の健康増進の一助となることを目的とする。

日 時：定例コンサート/ 原則6月～3月の第2土曜日 15:00～16:15
スペシャルコンサート/ 5月20日（土曜）

出演者： 定例コンサート/ 応募者より決定
スペシャルコンサート（プロ奏者を招いて開催）/
齋藤綾乃（千葉交響楽団打楽器奏者）、森浩司（ピアニスト）

対 象： 出演者/市内外団体または個人（応募により決定）
観客 /市内在住者優先（未就学児不可）

人 数：出演者：17団体 観客数：1,126人

費 用：無料

まとめ：コロナの5類移行を受けて、ここ数年制限されていた歌、管楽器も応募可能とし、観客の定員数にも制限を設けることなく実施した。
ここ数年コロナ禍で応募できなかった地域の市民音楽サークルの方々も、観客を前に練習の成果を発表でき、出演者と観客がともに同じ空間で音楽を共有し楽しむ、という本来のアットホームなサロンライトコンサートの開催ができたを考える。



5. 市民文化活動支援事業（永山公民館）

第33回映画祭 TAMA CINEMA FORUM

目 的：映画ファンを中心とした市民ボランティアがつどい、TAMA映画フォーラム実行委員会を主催している「映画祭TAMA CINEMA FORUM」を、継続して支援していくことで、市民の参加を促し交流が広がり、多摩市の映像文化の発展とともに、まちづくりに寄与することを目的にする。

日 時：令和5年4月～令和6年3月

映画祭 11月11日～26日のうち9日間（休映日を含む）

特別上映会 2月・3月・5月・6月・7月・8月（全6回）

対 象：どなたでも

人 数：映画祭 9,454人（52本）

TAMA NEW WAVE（応募195本）

特別上映会 2,281人（6本）

費 用：各回の入場料設定あり

まとめ：市制施行20周年記念事業として始まった映画祭も33回を迎え、この間実行委員会は、映画を媒体として多くの市民が主体的につどい、映画祭を企画・開催する中で、私たちの“まち多摩”の“まちづくり”を目指してきた。公民館はこうした市民の継続した活動を支援していく中で、公民館ならではの人と人との交流とともに、作り手と観客との対話の場を大切にしながら、実行委員会とともに映像文化の振興とまちづくりに貢献できた。

6. 情報発信事業（永山公民館・関戸公民館共通）

公民館通信「たのしいまち」

目的：編集委員である市民ボランティアと、公民館ならではの人の紹介や地域情報、講座・行事の様子などを掲載。市民に向けて情報の交差点となるよう情報発信していくことを目的として発行。

発行：隔月発行年6回

部数：1回 2,000 部 計12,000部



7. その他連携事業

- ① 公民館スマホ教室体験会
- ② 東京都事業スマホ相談会(高齢者スマートフォン普及啓発事業)

目 的:主に高齢者のデジタル生活技術の習得により、技術格差を埋めることを目的に開催。

また、東京都は「高齢者スマートフォン普及啓発事業」としてスマホ相談会を開催し、行政手続きのデジタル化推進とともに、誰一人取り残すことのないデジタル社会の形成を目指し開催。

日 時: ①4月10日(月)、5月30日(火)、6月16日(金)、7月21日(金)
8月18日(金)、9月14日(木)、10月20日(金)、11月17日(金)、
12月22日(金)、1月19日(金)、2月16日(金)、3月16日(金)
時間はいずれも 14:00~16:00
②6月29日(木)、9月5日(火)、12月12日(火)
時間はいずれも 10:00~12:00、14:00~16:00

講 師: ①松井貴光氏、室井里加子氏(ドコモショップ永山店) ②東京都派遣講師

対 象: ①市内在住・在勤者 ②60歳以上の都民

人 数: ①102人 ②59人

費 用:無料

まとめ:電話機能だけでなく、日常生活の中であらゆる情報の収集に携帯電話が必須の時代、アプリの取り込み方、写真の撮り方など操作技術の基本を学ぶ機会として開催。地域の事業者に無料で体験会を実施してもらうとともに、東京都の相談会と合わせて、多くの方に個々のニーズにあった丁寧な講座を実施できた。

その他連携事業(永山公民館)

東京都共催「デジタル創作体験」

目 的:学校や地域では実施しにくい専門的、ユニークな講座を実施し、こどもたちの創造性や知的好奇心、意欲を育むきっかけとなることを目的とする。

日 時:12月10日(土)10:00~12:30 ・ 14:00~16:30

講 師:IT×ものづくり教室リタリコ LITALICO ワンダー

対 象:都内在住または在学の小・中学生

人 数:17名

費 用:無料

まとめ:本講座は、東京都が今後のデジタル社会を担っていく小中学生が、誰でも気軽に、幅広いデジタルの体験が出来ることを目指して「子供向けデジタル体験向上プロジェクト」を進めていることから、東京都と協力して実施した。
①ゲームプログラミング②ロボットプログラミング③3Dモデリング/デザインの3つのコースから参加者が希望のコースを選択し、オリジナルのゲームやロボットづくりに挑戦した。引き続き東京都と協力し、こどもたちの創造性や知的好奇心、意欲を育むことを目指し、取り組みを進めていきたい。



(3) 関戸公民館事業計画(令和5年度)

令和5年度 関戸公民館年間事業計画

～公民館は、市民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、
人づくり・地域づくりにつなげていきます～

関戸公民館は、市民の社会教育活動を推進するため、少子高齢化、情報化の進展などの社会的状況が変化する中、地域課題を踏まえた各種講座の実施や、市民活動への支援などを通じて、幅広く学習機会や活動の場を提供する。第五次多摩市総合計画第3期基本計画（令和元年6月）の基盤となる考え方「健幸まちづくりのさらなる推進」をもとに、目指すまちの姿「みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち」の実現に取り組んでいく。また、多摩市教育振興プランや、多摩市生涯学習推進計画、多摩市学びあい育ちあい推進審議会からの提言「多摩市におけるこれからの社会教育施設のあり方について」（令和4年2月）を踏まえ、継続して学習が進められるよう環境を整え、自主的な活動を支えていくとともに行政機関を始め各関係機関との連携・協働を図り効果的に進めていく。

各事業の展開においては、永山・関戸両公民館の立地環境や地域性を活かしながら両館相互の連携をより強化し実施する。また、本年度最終年となる多摩島しょ連携活動助成による「たま学びテラス」事業については、これまでの成果を検証し日野市との連携を含め次年度の事業展開を検討する。また、一層親しみやすい公民館として多くの市民に参加してもらえよう情報提供のあり方や事業形態などを工夫し、団体や大学等との連携を深めていく。

1. 地域・生活課題を考える事業

地域の課題や、社会・日常生活において自分たちに関連する問題の解決の糸口、方向性を見出せるための講座を実施する。

(1) 市民企画講座

市民団体から地域、生活課題などを見据えた企画を公募、実施し、市民の自主的な学習活動の振興を図り、広く学習の場を提供する。

(2) 地域貢献講座

地域や生活上の課題を、地域とつながり、ボランティアの養成を通して継続した事業や活動で解決していくことを考える。

(3) VITAふれあいまつり

地域で活動している団体間のネットワークを構築するとともに、公民館の活動を知り、新たな地域活動へのきっかけを創りだしていく。

(4) 地域課題講座

地域の拠点施設であるコミュニティセンター等との連携で、地域にある課題を共有し、人づくり地域づくりにつながるよう実施する。

2. 学校・家庭教育支援事業

安心して子育てが出来るような内容の講座や、青少年をとりまく社会的な課題等をテーマとした講座等を学校・地域との連携を図りながら実施する。

(1) 子育て安心講座

安心して子育てに取り組めるような環境づくりや、思春期の成長に配慮した内容で実施する。

(2) 薬物乱用防止講座

社会的、教育的に問題となっている薬物について、その怖さや影響の大きさを知り、薬物乱用を防止するために学校、地域と協力して実施する。

(3) 家族問題講座

子どもの自立や就労の支援のためなどに、家族として取り組むこと、出来ることを考える機会とする。

(4) 職場体験等の受け入れ

市内中学生の職場体験や、事業へのボランティアの受け入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ。

(5) 保育室開放デーの実施

乳幼児の親子同士の交流を図る機会として、毎月定期的に保育室を開放する。

3. 市民・時事問題講座事業

時事的な課題をとりあげて共に考える機会を設け、また多摩の文化や芸術に触れ、生活に潤いがもたらされるような講座や、若者を対象とした視点の講座等を実施する。

(1) 関戸地球大学院

環境、貧困、経済・資源など国際的な課題から、地域社会で生起している現象などを

市内の大学との連携で開催し、社会とどう関わるかを考える契機とする。

(2) 市民講座

その時々課題をタイムリーに捉えたテーマにより、さまざまな角度で課題を見つめていく機会を設け、市民の学習意欲の向上を目指す。また、市民生活に身近なテーマを取り上げ、市民のデジタルディバイド対策としてスマホ等の学習や、生活・文化等について継続した学習から知識を楽しく深めあうことで、地域での豊かな実生活に結びつけていく。

(3) 郷土史講座

多摩の古代から現代までの歴史を学ぶことを史跡見学会も含め実施し、郷土を知り、見つめなおす機会とする。

(4) 伝承文化教室

茶華道や折り紙等の伝統文化に親しみ、参加者間の交流も促進する。

4. 地域(聖蹟桜ヶ丘)活性化事業

駅前施設としての関戸公民館の周知を図るため、地域や周辺施設等館内施設を活用したイベントを開催する。

(1) 市民ロビー等活用事業

市民団体等と市民ロビーやギャラリー施設を活用した催事を行い、聖蹟桜ヶ丘の賑わいづくりや公民館の周知を図る。

(2) 地域イベント等協力事業

地域に協力した事業を実施する。

5. 市民文化活動支援事業

さまざまな分野の文化芸術で、市民が主体となって企画運営する催しに協力し、広く定着し活動が活発になるよう市民の実行委員会に会場提供等の支援をする。

(1) 演劇フェスティバル

演劇フェスティバルは実行委員会により年間を通じて開催されている。市民に観劇の機会を提供すると共に、実行委員会・劇団への会場提供、舞台制作、広報活動支援により演劇が地域に根付くことをめざす。

(2)VITAマンスリーコンサート

ヴィータ・マンスリーコンサート実行委員会が企画・運営する中で、年間を通じて出演者を公募形式で選定し、クラシックを中心にジャズ、ポップスなどさまざまな分野のコンサートを毎月開催し、身近な施設で音楽に親しんでいただく機会とする。

(3)What's Jazz

実行委員会がジャズバンドを招聘して、有料でのライブコンサートを行う。

実施会場 ヴィータホール・ベルブホール

年1～2回公演(金曜日)

6. 情報発信事業

市民の交流を図る公民館通信の発行で、社会教育団体の活動や公民館事業、地域での取り組みなどを紹介し、公民館未利用者層を含め新たな活動に誘うとともに、さまざまな情報媒体を通して情報を発信、提供していく。

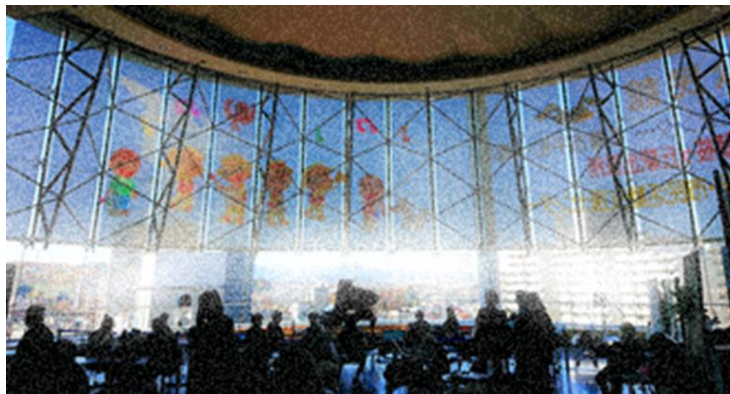
- (1) 公民館通信「たのしいまち」の発行
- (2) ホームページでの情報提供
- (3) サークル紹介カードの掲示

7. その他連携等事業

令和3年度より3年間において、東京都市長会による「多摩島しょ連携活動助成」の採択を受け、日野市と多摩市の公民館間での事業連携と ICT 活用を推進する。

(1)たま学びテラス

関戸地球大学院、まち歩きなど、多摩市民と日野市民が相互に公民館事業に参加し、交流を深め、大学との連携をすすめる中で、ICT を活用し、新たな学びの方策を確立していく。



(4) 関戸公民館 事業の記録

1. 地域・生活課題を考える事業

市民企画講座

目 的：市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する。

内 容： 下表「講座一覧」参照

まとめ：計2団体の申し込みがあり、市民企画講座として実施された。

工作や新聞づくりを通して、子どもたちが自由な発想で創作活動ができるワークショップや、朗読を通して、物事に対する感性を育み、またそれを「伝える」ことをトレーニングする講座などが企画・実施された。両団体ともに今後も継続的に活動していくことに意欲的であるほか、講座を通してサークル団体が立ち上がるなど、自主的な学習活動の場づくりを行う市民団体の支援に寄与できたと考える。

【講座一覧】

団体名(テーマ)	講師	回数	参加者数
読み語り「物集女(もづめ)」 (朗読!!やってみよう!!)	物集女 (読み語り「物集女」主宰)	5	12
チームミニたま (こたま(Co-tama)2023 プレ・ 連続講座)	①なし(ワークショップ) ②さかた ともえ 氏 ③恒住 智美 氏	3	45



1. 地域・生活課題を考える事業（関戸公民館）

地域貢献講座 TALKING with US!

- 目 的：① 自由に参加できる体験企画を通して、現在の自分自身のこと、まちの課題について考え、気づきを得る機会を創出する。
- ② ①で得た気づきをもとに、10年後のより良いまちの姿や、理想の自分について話し合い、その実現につながる第1歩となる行動を促す。

日 時：令和5年8月11日(金・祝) 15:00～17:00

参 加：8人

対 象：13歳～19歳の方

費 用：無料

まとめ：本事業は、令和4年度わがまち学習講座の派生企画として、3名の高校生と協働して実施した。高校生たちが、企画から運営まで主体的に取り組む経験を提供できたと考えている。



1. 地域・生活課題を考える事業（関戸公民館）

第2回VITAふれあいまつり

目 的： 地域で活動する市民団体のネットワーク化を促進するとともに、活動する新たな人材を見出し、市民のつながりを深め、活動が広まるような場とすることを目的とする。以前は「地域ふれあいフォーラム TAMA」として、市民活動団体・グループ、地域の大学や行政とさまざまな事業を計画・実施してきた。

日 時：（本番）令和5年8月6日（日）
（実行委員会全体会）令和5年5月11日（木）・7月13日（木）

参 加：32 団体

対 象：一般市民

人 数：2,262 人（本番当日、延べ参加者数）

費 用：無料

まとめ：市民ロビーでの合唱や器楽演奏、ホールでの演劇やダンスパフォーマンス、むかし遊び体験などのワークショップ、環境・震災・社会教育に関する展示など、32 団体が参加し、様々な企画を実施した。今年度は、より館全体の回遊性を高めるためにクイズラリーを新たに取り入れたことにより、来場者のみならず、参加団体同士で相互に成果発表を見るきっかけにつながった。日頃より公民館に関わっている団体同士が新たなつながりを創出する機会となった。

【事業の様子】



2. 学校・家庭教育支援事業

子育て安心講座

親子で学ぶ！ スマホを持つ前に知っておきたいトラブル回避法！

目 的： 子どもとその保護者に向けて、スマホに関するトラブル(SNS でつながった知らない人と会う、SNS で個人情報や写真を送ってしまう、性的な情報に触れてしまう等)防止のための知識を伝える

日 時：12月16日(土) 10:30～11:40

場 所：パルテノン多摩3・4会議室

対 象：小学生・中学生を持つ保護者(子どもの参加も可)

人 数：4人(2組)



内 容：①戸田さやか(公認心理師、臨床心理士、ファミワン)

SNS利用可能年齢、SNSトラブルの対策(写真や投稿で気を付けること)、スマホのルール(年代別保護者が管理する範囲と本人に任せる範囲の決め方)

②藤本加奈子(スマホ相談会 講師、ジェイティーエス)

スマホの選び方、フィルタリングや機能制限についての紹介、便利なアプリや使い方の紹介

まとめ：参加人数は少なかったものの、昨今のSNSトラブルの具体的な例示・対策など内容は非常に有用なもので、多くの保護者、子どもにも聞いてもらいたい内容であった。次年度以降公民館主催で実施ができないか検討したい。

参 考：株式会社ファミワンは令和4年度「東京都スタートアップ社会実装促進事業」において東京都により選抜され、多摩市経済観光課、TAMA 女性センターと共催し、地元企業への情報提供と意見交換会を実施した。

また、株式会社ジェイティーエスは経済観光課と連携し、総務省「利用者向けデジタル活用支援推進事業」において安心スマホ教室を実施した。

薬物乱用防止講座

目 的：薬物乱用行為の危険性について若年期より学習し理解を深めることにより、将来にわたり「薬物乱用をしない・させない」人の育成・社会の醸成につながることを目指し、主に市内中学生を対象に、本講座を開催した。

今年度については、生徒・教員及びその保護者を対象に、薬物乱用の危険性について学習し、共通認識を持てる機会とした。

日 時：（多摩市立多摩中学校） 令和 6 年 2 月 28 日(水) 13:05～14:00
（多摩市立東愛宕中学校） 令和 6 年 3 月 4 日(月) 13:25～15:15

講 師：公益財団法人 日本健康アカデミー
理事長・認定講師 古瀬智之氏
認定講師 古瀬清華氏

対 象：各中学校生徒及びその保護者・教員

人 数：多摩中学校 ：148 名（生徒 140 名 教員 8 名）
東愛宕中学校：174 名（生徒 158 名 教員 15 名 保護者 1 名）

費 用：なし

まとめ：今年度は多摩中学校、東愛宕中学校の 2 校で実施し、ビデオ学習や講師による説明を中心に、合計 322 人の生徒及びその保護者や教員に向けて学習機会を提供することができた。いずれの学校でも、講師の問いかけに対ししっかりと反応を示すなど、生徒が真剣に授業に臨んでいる様子が印象的であった。

学校・家庭教育支援事業（関戸公民館）

職場体験の受け入れ事業「未来を拓く職場体験」

目 的：持続可能な社会づくりに向けた人づくりに寄与するために「多業種・多職種」が運営する「多様な市民の学習や活動を支援する公共の拠点施設」として、「将来の社会人」である中学生に望ましい社会性・勤労観・職業観を育成し、自らの生き方を考え、自立や社会参加を促すことを目的とする。体験する中で、公民館利用者の学習意欲や人と人とのふれあいなどを直に感じることで、生徒が自らの進路や生き方を考えるきっかけを得る機会とする。

日 時：

- ①令和5年 9月26日（火）～ 9月28日（木）9:00～15:00
- ②令和5年10月30日（月）～11月 1日（水）9:00～15:00
- ③令和6年 1月30日（火）～ 2月 1日（木）9:00～15:00

学校名：①多摩中学校 第2学年
②和田中学校 第2学年
③東愛宕中学校 第2学年

人 数：①2人
②2人
③2人

まとめ：講座での受付業務や、窓口業務を通して、利用者への対応のほか、舞台の照明機材等の設置や操作など、多くの職業体験を提供することができた。様々な立場や役割を担う仕事があり、これらの仕事によって施設の運営成り立っていることを理解してもらう機会につながったと評価している。中学生が将来の方向性を考える際のひとつのヒントとなるよう、今後も受け入れを継続していく。

【多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校探求授業への協力】

多摩市が子ども・若者の活躍を支援する視点で協力している多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校探求授業の「探求ゼミ（公民館ゼミ）」に、探求アドバイザーとして永山・関戸両公民館協力している。公民館の活用拡大につながるフィールドワークや実際の事業実施に助言・協力を通年行っている。

学校・家庭教育支援事業（関戸公民館）

保育室開放デー

目 的： 通常はサークル・団体での利用に限定される保育室を、広く子育て中の親子に利用いただくことにより、子育て中の方々が出会い、互いの交流を図れる場を提供することを目的とする。あわせてヴィータ・コミュニネの上階にある保育室の認知度を上げ、公民館利用の促進を図ることとする。また、読み聞かせボランティアによるあかちゃんおはなし会等のイベントを保育室開放デー内で実施することで保育室開放デーの目的達成の一助とする。

対 象： 未就学児とその保護者

費 用：無料

人 数：延べ人数 291 名（うち子ども 147 名）

【別表】()は子どもの人数

保育室開放デー	保育室開放デー内イベント
※()内こども	・夏のあかちゃんおはなし会
4月2回17人(9)	8/2 11人(6)
5月1回3人(2)	8/16 6人(3)
6月2回33人(18)	・あかちゃんおはなし会
7月2回15人(8)	10/18 0人(0)
8月2回37人(19)	11/15 8人(4)
9月2回36人(18)	12/6 4人(2)
10月2回23人(12)	12/20 8人(4)
11月2回21人(10)	1/17 中止（ボランティア都合のため）
12月2回12人(6)	2/21 7人(3)
冬休み	3/6 2人(1)
12/27 10人(4)	・ふれあいこどもまつりアウトリーチ活動
1/9～11 18人(9)	「親子で一緒におはなしあそび」
1月1回10人(5)	2/7 10人(5)
2月2回40人(19)	
3月1回12人(6)	
計：287名(145名)	計：56名(28名)

※市民講座として保育室開放デー拡大事業「みんなのおはなし会」を実施した。
11/7 計4名(2名)の参加があった。

まとめ：

前年度以上に多くの方に参加してもらうことが出来た。

前年度までは同じタイミングで重なることがなく、交流が生まれる機会が少なかったが、今年度は同じタイミングで親子の利用があり、親子同士で会話や遊びをする姿が見受けられるなど、親子同士の交流につながっていた。

また、8月からは関戸図書館職員の紹介で読み聞かせボランティアに来てもらい、あかちゃんおはなし会を概ね月に1～2回程度実施した。

読み聞かせの前後にはおもちゃで遊んだり、ママとの会話が広がるなど、ボランティアを介しての親子の交流も生まれていた。

2/7の劇団風の子による、「親子で一緒に おはなしあそび」の際には、読み聞かせボランティアも見学しに来ていた。翌週以降は、プロのひきつける技術を参考にして、自身の読み聞かせの際に取り入れる等、ボランティアの学習の場にもなっている様子が見受けられた。

【講座の様子】



3. 市民・時事問題講座事業

関戸地球大学院

目 的：現代社会における変化は加速度的に進んでおり、それによって生じる、経済・文化・福祉などを取り巻く課題がより複雑化・多様化している。そのような社会において、市民の自己実現を支えるためには、市民が専門的かつ多様な学びを得られる機会を確保していくことが重要である。

そこで、多摩市内にキャンパスを置く 6 大学（桜美林大学、大妻女子大学、多摩大学、恵泉女学園大学、国士舘大学、東京医療学院大学）と共催し、それぞれの大学の特性を活かした専門性の高い講座を展開することにより、市民の多様な学びの機会を保障し、自己実現に寄与することを目指し実施した。

日 時： 第 1 回 10 月 3 日(火) 第 2 回 10 月 12 日(木)
第 3 回 10 月 17 日(火) 第 4 回 10 月 27 日(金)
第 5 回 11 月 16 日(木) 第 6 回 11 月 21 日(火)
第 7 回 11 月 28 日(火)
14：00～16：00（各回共通）
※全回、会場受講とオンライン受講を併用で実施

対 象：一般市民

人 数：延べ人数 279 名（会場 195 名 オンライン 84 名）

費 用：無料

まとめ：全 7 回にわたり、国際関係・健康・発達科学・スポーツ・航空・デザインなど、多様なジャンルの学習機会の提供につながった。たま学びテラス事業の一環で日野市と連携して実施したことにより、市内に限らず、日野市や市外からの受講者も一定数おり、講座の満足度としては高いものになったと考えられる。

※講座の詳細については別表参照

【別表】

実施回	内 容	講 師
第 1 回	核兵器のない世界の作り方	恵泉女学園大学大学院 講師 (ピースボート共同代表) かわさき あきら 川崎 哲 氏
第 2 回	女性のライフサイクルと健康 ～ウェルビーイングをめざして～	東京医療学院大学 教授 か い す み こ 甲斐 寿美子 氏
第 3 回	赤ちゃん学：コミュニケーションの発達科学	大妻女子大学 准教授 みやざき みちこ 宮崎 美智子 氏
第 4 回	水中運動で健康になる	国土舘大学 教授 す どう あ き ほ る 須藤 明治 氏
第 5 回	ジェット旅客機パイロットの仕事	桜美林大学 准教授 ふ し み ま さ は る 伏見 雅治 氏
第 6 回	内側から見る中国 ―― 誕生から 受験そして老後まで	多摩大学 准教授 み ず も り り ょ う い ち 水盛 涼一 氏
第 7 回	身の回りのデザイン ～良いデザイン と悪いデザイン～	大妻女子大学 専任講師 い そ や ま な お や 磯山 直也 氏

【講座の様子】



市民・時事問題講座事業（関戸公民館）

市民講座

（初心者向け個別サポート）スマホサロン～スマホでつながる 遠くの家族と近くの友達～

目 的：デジタルデバイドの是正に向けて、スマートフォンの基本操作について学ぶ機会を提供するとともに、関戸公民館と同じフロアのボランティアセンターとの連携とボランティア登録団体と市民の交流を促進する。

対 象：一般市民

人 数：延べ 100 人

講 師：パソコンボランティア多摩

帝京大学ボランティアサークルあめんぼ～ず 他

費 用：無料

まとめ：スマホの基本操作について学ぶ機会の創出につながったとともに、市民同士、市民とボランティア同士などが、スマートフォンに関する話題を通して交流を促すことにつながった。

【別表】

日時	会場	時間
2023 年 4 月 7 日	ギャラリー	14:00～16:00 (各回共通)
2023 年 6 月 2 日	ギャラリー	
2023 年 8 月 18 日	ギャラリー	
2023 年 10 月 6 日	創作室	
2023 年 12 月 1 日	創作室	
2024 年 2 月 2 日	創作室	

【講座の様子】



市民・時事問題講座事業（関戸公民館）

市民講座 関戸公民館×TAMA 女性センターコラボ企画

「山中さん家が元気な理由 -夫婦でデザインするつながりのある暮らし-」

目 的：仕事のみならず、趣味のジャズコンサートの主催等、市民活動にも積極的に取り組み、夫婦で仕事も趣味も充実した毎日を送っている山中夫婦。そのライフスタイルは雑誌「暮らしの手帖」やNHKのEテレ「趣味ドキッ！」でも取り上げられた。両氏を講師に招き、ジェンダーフリーの暮らし方や、市民活動が、人生をより豊かにしている話を聞き、夫婦のあり方、生き方を考える機会とすることを目的に実施した。

日 時：令和5年5月19日(金) 14:00～16:00

関戸公民館 ヴィータホール

講 師：山中康廣 氏（山中康廣建築設計事務所代表）

山中阿美子 氏（デザインオフィス主宰）

対 象：一般市民

人 数：50人

費 用：無料

まとめ：本講演会は2部構成で実施した。第1部では両氏が自ら設計したご自身の家やキッチンの設計思想や、これまでの人生における経験談についてお話しいただき、第2部では両氏のこれまでの人生経験や考え方、価値観などについて、参加者からの質問も取り入れながら、インタビュー形式で掘り下げていった。受講者からは、両氏の考え方、価値観から「暮らし・住まい」のヒントにつながる気づきを得られたなどの感想があった。

【講座の様子】



市民・時事問題講座事業（関戸公民館）

市民講座（保育室開放デー拡大事業）みんなのおはなし会

目 的：毎月実施している「保育室開放デーおはなし会」の拡大事業として会場を保育室から広いギャラリーに移して実施。普段から読んでいる絵本や本をプロの「語り」で聞くことにより、さらなる読書への関心を高める。
また、関戸公民館内の「保育室」及び「保育室開放デー」のPRを図り利用促進につなげるとともに、「ギャラリー」の利用方法の可能性の広げ、今後の事業に活かす。

日 時：令和5年11月7日（火）11：00～11：30
関戸公民館7階 ギャラリー

講 師：物集女（もづめ）氏
（読み語り「物集女」主宰）

対 象：一般市民（中心となる対象は未就学児とその保護者）

人 数：4名

費 用：無料

まとめ：当日は2組の親子、計4名が参加した。
参加者が持参してきた絵本や本のほか、講師自らが選書し、持参した本もあり、少人数ながらも講師と参加者が本を通して深い交流を図る機会を創出することにつながった。

市民・時事問題講座事業（関戸公民館）

市民講座 知られざる橋の世界 もっと知ろう「多摩の橋のこと、東京の橋のこと」

目 的：単に「渡る」ための「構造物」という視点だけではなく、橋梁の過去・現在を知ること、人や文化が交流し、つなぐ、まさに架け橋としての橋梁を、市民のアイデンティの一つという視点で橋・まち・都市を見直す機会とした。

日 時：(第 1 回)「多摩の橋ものがたりー橋は地形によって造られるー」

令和 5 年 2 月 17 日(土)14:00～16:00

(第 2 回)「関東大震災 100 年を超えてー橋にも込められた技術者たちの想いー」

令和 5 年 2 月 24 日(土)14:00～16:00

関戸公民館 8 階 大会議室

講 師：紅林 章央(くればやし あきお)氏

(公益財団法人東京都道路整備保全公社 道路アセットマネジメント推進室長、元東京都建設局橋梁構造専門家長。)

対 象：一般市民

人 数：(第 1 回)48 名 ／ (第 2 回)40 名

費 用：無料

まとめ：橋梁に関する多数の著書を執筆し、土木学会出版文化賞受賞者であり、テレビ番組のも多数出演している橋梁専門家の講師の認知度は高く、定員を超える応募があったため全員の受講を決めた。アンケートでは満足が 87%、やや満足が 6%、やや不満が 6%であり、再度の開催を希望する声も多数で好評であった。

【講座の様子】



市民・時事問題講座事業（関戸公民館）

現代課題講座 多摩市公民館50周年記念事業 井田寛子氏特別講演会
「近年の異常気象と気候変動 ～気候変動問題について日本のテレビ放送はどう伝えてきたのか～」

目 的：国連事務総長が地球沸騰化と警告し、日本国内でも観測史上最高級の暑さを記録するなど、急激な気候変動を実感せざるを得なかった2023年。私たちが気候変動をはじめとする環境問題の情報を受け取る重要な手段である「メディア」は、これまで、環境問題をどのように伝えてきたのか。そして、私たちはこれから、メディアからの情報とどう向き合いながら、環境問題を考え、行動していくべきかを学ぶことを目的として実施した。

日 時：令和5年3月9日（土）14：00～16：00
関戸公民館ヴィータホール

講 師：井田 寛子（いだ ひろこ）氏
（気象予報士・キャスター）

対 象：一般市民

人 数：72人

費 用：無料

まとめ：近年の異常気象や気候変動について、国内における暑さ・雨など気象に関する解説や、海外の事例について、気象予報士・キャスターの視点からお話があった。また、常日頃から見聞きし、重要な情報源であるメディアにおいて、気候変動問題をどのように発信しているのかといった内容についてお話いただいた。参加者は熱心に受講しており、講師への質問数は30個以上に及び、アンケートの回収率も80%と、環境問題への関心は非常に高いことがうかがえた。



伝承文化教室 はじめての茶の湯

目 的：接する機会は少なく、敬遠しがちな「茶の湯」を気軽に体験することで、「茶道」をより身近に感じ、関心を持つ市民を増やす事を目的に実施する。更に、当館の「茶室」を周知し、有効利用を促す。

また、講座終了後は、当館で開催されている多摩市茶道連盟主催の「月釜」へ繋げることで、継続的に「茶道」に触れる機会を提供する。

日 時：(第1回) 令和5年3月23日(土) 10:00～12:00
(第2回) 令和5年3月30日(土) 10:00～12:00

場 所：関戸公民館8階 茶室・和室

内 容：茶の湯の魅力(茶道・茶室・茶道具・作法について。お茶会体験)

講 師：多摩市茶道連盟会員

対 象：一般市民

人 数：(第1回) 15名 / (第2回) 15名

費 用：無料

まとめ：茶道入門はハードルが高いと感じている参加者が多く、継続実施の希望の声も多く聞かれた。入門についての質問や流派の違いなど質問も多く、茶道連盟主催の市民茶会や月窯にも興味を持ってもらえた。

また、茶道連盟からも関戸公民館の本格的な茶室の利用促進や茶道人口の拡大の機会として積極的に講座を企画していただき、参加者同様継続実施の意向を受けている。

【講座の様子】



4. 地域(聖蹟桜ヶ丘駅周辺)活性化事業

- 第42回せいせき桜まつりコラボレーション in 関戸公民館(4月2日)
- せいせき朝顔市コラボレーション in 関戸公民館(7月)

目 的：聖蹟桜ヶ丘駅前で開催される「せいせき桜まつり」や「せいせき朝顔市」に併せて、関戸公民館でも親しみやすい催しを実施し、集客での協力を行い聖蹟桜ヶ丘地区の活性化に貢献する。

対 象： 一般市民

内 容：別表のとおり

人 数： 合計 2,009 人(内訳は別表のとおり)

費 用：無料

まとめ：

○せいせき桜まつりについては、飲食ブースを除きコロナ禍前の規模での実施であったため、多くの市民が聖蹟桜ヶ丘駅周辺に来場し、活気が戻ってきたと感じる 1 日であった。公民館の主催事業も入場規制することなくコンサートや寄席を実施することができ、地域の活性化に寄与できた。

別表

○第43回せいせき桜まつり(4月2日開催)

事 業	来場者数
① ヴィータホール(実行委員会主催) 時間:12:00~16:30 出演:東京たま桜、EWELOVERS、KIDSストリートダンス スタジオクロス、 バレエスタジオ ファアリー、Shajara Bellydance(ジャジャラベリー ダンス)、よきこい踊り	730 人
② ギャラリー(実行委員会主催)「子どもからの震災メッセージ展」 日時:4/1=9:00~19:00、4/2=9:00~16:00 プログラム:パネル等の展示	200 人
③市民ロビー(公民館主催) 13:00~15:00 プログラム:ピアノ・サクソ演奏によるコンサート	142 人

出演:ピアノ:伊東のぶえ、高橋裕子、ピアノ&サックス:山崎奈津子、賛助出演 ピアノ:小林由紀子	
④茶室(公民館主催)お茶室をのぞいてみよう(茶室見学)」 10:00～15:00 プログラム:茶室の解説と案内 協力:多摩市茶道連盟	75 人
⑤大会議室(公民館主催)「さくら寄席」 14:00～16:00 出演:多摩落語寢床の会、三笑亭可龍(真打)	80 人
① ～⑤合計 1,227 人 (内公民館主催③～⑤合計 297 人)	

○せいせき朝顔市(7月1日開催)*ギャラリーは6/27～7/5)

事 業	来場者数
① 大会議室「あさがお寄席」 14:00～16:00 出演:多摩落語寢床の会	45 人
② ホール「ザ・ドロシーズ コンサート」 14:00～16:00	162 人
③ 市民ロビー「おもちゃ病院 kebo」 10:00～15:00	34 件
④ ギャラリー「アイスランド写真展」	150 人
合計 391 人	



地域(聖蹟桜ヶ丘駅周辺)活性化事業(関戸公民館)

市民ロビー活用事業

目的：市民団体等が主体となって実施するコンサートや催事を通して、聖蹟桜ヶ丘周辺地域の賑わいつくりや地域活性化、関戸公民館の認知度向上に寄与するとともに、来館者の学習機会の提供又は文化的教養の向上に資することを目的とする。

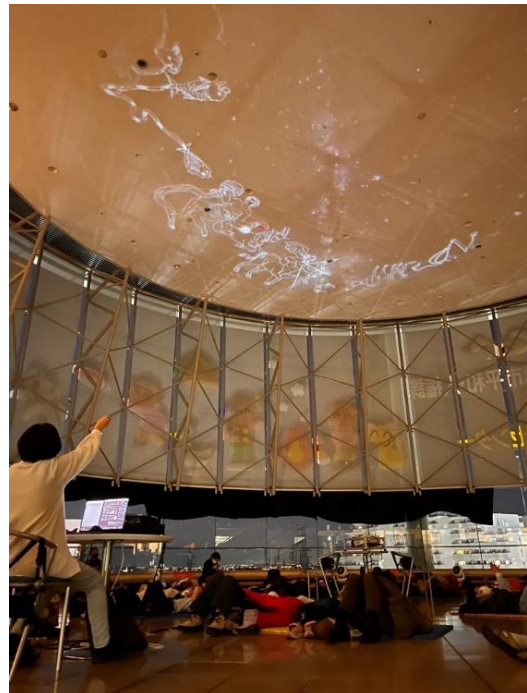
対象：一般市民

人数：別紙参照

費用：なし

まとめ：令和6年度は10種類の企画を実施した。コンサートや国際交流をテーマにしたイベントなど、幅広い内容で展開された。市民ロビーという開かれた空間での事業実施により、貸館や講座参加などの目的を持たない、多くの来館者にとって学習機会の提供および文化的教養の向上につながった。

※企画内容については別表参照



協力：(一社)星つむぎの村

(別 紙) 令和6年度市民ロビー企画一覧

日付	内容	参加者数
7月17日(月祝)	文化団体連合夏祭り	450人
8月 8日(火)	T I C ワールドキャンパス交流会	100人
8月22日(火) ～9月5日(火)	児童館50周年展示&多摩センタージオラマ &プラレール展示	150人
9月23日(土) 24日(日)	T I C 創立30周年記念事業	170人
10月21日(土)	T I C 市民文化祭参加事業	90人
11月18日(土)	ダイヤモンド富士コンサート	155人
12月 1日(金) ～ 3日(日)	スターライトバルコニーin 関戸 ①12/1 スターライトコンサート ②12/2 寝ころびプラネタリウム&星空観望会 ③12/3 太陽系のレシピを知ろう～月の立体早 見盤作成ワークショップ付 (※ギャラリーで 実施)	232人
12月23日(土)	多摩テュッティ弦楽合奏団 クリスマスラン チコンサート	100人
3月24日(日)	ロビーコンサート (東京薬科大学合唱団)	60人
3月31日(日)	ロビーコンサート (春のコンサート～ユーフ ォニアムの響きとともに～)	70人
計		1577人

5. 市民活動支援事業

- 多摩演劇フェスティバル「たまには芝居」
- ヴィータ・マンスリーコンサート
- What's JAZZ!

目 的：市民が自主的に企画、公演する音楽や演劇事業について、広く周知し、鑑賞、参加を通じて楽しんでいただき、事業への理解を深めてもらうことを目的に支援する。

支援する事業は、多摩演劇フェスティバル、ヴィータ・マンスリーコンサート、What's JAZZ!である。

対 象： 一般市民

人 数： 合計 3,584 人

・多摩演劇フェスティバル	1,497 人
・ヴィータ・マンスリーコンサート	1,102 人
・What's JAZZ!	995 人

費 用：なし

まとめ：

○多摩演劇フェスティバルは全 9 公演を実施した。また、StayAct プロジェクトとして、動画コンテンツ「演フェスラジオ・楽屋放浪記 シーズン 4」を制作し、YouTube で全 7 回配信した。この他、多摩演劇フェスティバル広報誌「たまには芝居」を全 7 回発行した。

○マンスリーコンサートは第 4 金曜日の午後を基本とし、今年度は全 8 公演実施した。

○What's JAZZ!は、各回、「昼の部」「夜の部」と 2 回公演を基本とし、今年度は全 4 回実施した。

※公演内容については別表参照

別 表

○多摩演劇フェスティバル（公演）

月 日	公 演 団 体	演 目	来場者 (人)
7月15・16日	不等辺さんかく劇団	インヴィジブル・ファイア	332
7月22・23日	カカワクワディーゴ	アンド	114
9月2・3日	帝京大学ヴィクセンズシアター	バス停	93
10月8・9日	市民劇場 TAMA	インディヴィジュアル・ライセンス	192
11月25・26日	劇団古田工務店	軽演劇「アチャラカ刑事七転八倒」	183
1月13・14日	劇団ドラマ館	ビバ！小町さん	203
3月16・17日	TAGWEAP	過去の鎖を解く鍵	117
3月19・20日	お芝居の工房ちゃとらん	山猫 ～「どんぐりと山猫」 「注文の多い料理店」～	129
3月30・31日	劇団 March Wind	お勢登場	134
合計			1,497

○ヴィータ・マンスリーコンサート

月 日	出演者・団体	演 目	来場者
4月28日	アンサンブル・タマデウス	春のバラエティ・コンサート ～それぞれの楽器の魅力を楽 しめるコンサート～	118
5月26日	ヴァリース・カルテット	弦楽四重奏のよろこび	127
6月23日	有山志音&大森茉莉衣	ヴィオラ・ピアノ Duo コンサ ート ～知られざるヴィオラ とピアノの音楽たち～	135
7月28日	かえでспанキーズ・ ジャーニースターズ	G.S&THE VENTURES ～蘇る 60 年代。青春をもう一度～	191
8月25日	グマ ファマグウン タノ ザニ タシ（大地と海の子ど もたち）	グアム・チャモロ音楽の世界	97
11月24日	チェンボー・カルテット	二胡とピアノで奏でる世界の 音楽	151

1 月 26 日	田中百合子	ピアノソロコンサート ～ドイツ・フランスの名曲+α～	139
3 月 22 日	混声合唱団 Shin	春のコンサート～聴いて！観て！笑って！歌って！Shinと一緒に～	144
合計			1,102

○What' s Jazz!

月 日	標 題	来場者(人)
6 月 9 日	ザ・スタンダード 魅了する男性ヴォーカルの世界(vol.64)	①ランチタイム 124 ②ティータイム 136
9 月 8 日	再びラテンスペシャル(vol.65)	①ランチタイム 99 ②ティータイム 131
12 月 9 日	正統派ジャズ クリスマス (vol.66)	①ランチタイム 156 ②ティータイム 129
3 月 8 日	春先 明るいラテン香るサウンドで (vol.67)	①ランチタイム 119 ②ティータイム 101
計		995

マンスリーコンサート



What's Jazz!



6. その他連携事業

「たま学びテラス」事業(日野市・多摩市連携事業)
「調布玉川惣画図」を歩く

目 的： 多摩市と日野市の間を流れる「多摩川」を、江戸時代後期、関戸村（現、多摩市関戸）の名主、相沢伴主が源流から河口まで歩き、流域の名所や風景を写生し、絵師・長谷川雪提が清写した多摩市指定有形文化財の「調布・玉川惣画図」。全長 13mあるこの絵巻の多摩市及び日野市の部分を中心に実際に歩き、当時の多摩市と日野市の繋がりや、当時の風景との比較、人々の暮らしや営みに思いを馳せ、多摩市と日野市の地域に関心や愛着を持つ機会とした。

日 時： ① 令和 6 年 1 月 10 日(水)：関戸公民館大会議室
② 令和 6 年 1 月 17 日(水)：多摩市内
③ 令和 6 年 1 月 24 日(水)：日野市内
④ 令和 6 年 1 月 31 日(水)：関戸公民館大会議室
各日 10:00～12:00

対 象：一般

人 数：①20 名 ②19 名 ③17 名 ④16 名

費 用：無料

講 師：橋場 万里子 氏（公益財団法人多摩市文化振興財団 学芸員）
金野 啓史 氏（日野市ふるさと文化財課 学芸員）

内 容：①「玉川惣画図を歩く」ガイドンス

2日にわたり歩くコースを中心に、「調布玉川惣画図」の背景や成り立ち及び多摩川流域の人々の生活や作者の相沢伴主についての講座。

②「相沢伴主ゆかりの地を歩く」

多摩市役所⇒熊野神社⇒観音寺⇒横溝八郎の墓⇒城山・天守台⇒聖蹟桜ヶ丘駅(約3km)

③「玉川の鮎漁や、当時の日野の暮らしを知る」

JR 日野駅改札⇒日野上堰用水⇒多摩川鉄橋⇒日野煉瓦工場跡⇒日野宿交流館⇒JR 日野駅(約3km)

④「調布玉川惣画図」よもやま話

実際に歩いたコースを振り返りながら、参加者の感想や疑問等について話し合った。

まとめ：定員に対して、かなりの申込者（キャンセル待ち 10 名、お断り 30 名）があり、地域散策への関心の高さが伺えた。また、アンケートでの回答でも、ほぼ全てが「満足」「やや満足」であり、継続した開催の希望も多く、満足度が高かった講座であると言える。

また、この講座で知り合った参加者同士が、終了後に交流を深めている場面もあり、両市の市民同士が交流するキッカケともなった。



その他連携事業（関戸公民館）

「たま学びテラス」事業（日野市・多摩市連携事業）

たま学びテラス総括イベント 「ゆるくつながる 学びの一步！」

目 的： 令和３年度から令和５年度までの３年間、「たま学びテラス」事業として、多摩市・日野市の２市が連携し、ICT等を活用した遠隔学習環境の整備や市民大学事業等を運営することで、２市による多摩地域の住民の学習成果の情報発信や生涯学習支援の充実を図ってきた。

３年間の様々な活動を通して築いてきた学びの成果発表を行う総括イベントを開催し、その成果を「たま学」として提唱し、多摩地域に広く周知することで、多摩地域の住民ゆるやかな学びのネットワークを拡げていく。

日 時：令和６年３月１６日（土）・１７日（日） ※詳細は別表参照

対 象：一般

人 数：延べ１８４人

費 用：無料

内 容：別表参照

まとめ： これまでの３年間の取り組みをまとめた総括イベントとして、活動の成果を広く両市の市民に発表する場を設けることができた。また、プログラミング体験会では、企業や多摩市内の高校生ボランティアとの協力もあり、小学生から高齢者まで幅広い層の市民に体験の機会を提供できた。また、講演会では、世界最高齢のプログラマーとして著名な若宮氏を招き、多くの聴講者から満足の評価を得ることができた。

別 表

内容	日時	人数
①若宮正子氏講演会「実り多い豊かな人生 私は創造的でありたい～変化する時代を生き抜くための”学び続ける力”～」 【講師：若宮 正子氏（IT エバンジェリスト）】	3月17日(日) 13:30 - 15:00	110人
②プログラミング体験会	3月16日(土) 11:00 - 16:00	24人
③ギャラリー展示「日野市中央公民館×多摩市公民館～たま学びテラスの3年間をたどる～」	3月16日(土) 17日(日) 10:00 - 17:00	50人



その他連携事業（関戸公民館）

その他連携事業 スマホ相談会 （東京都主催 高齢者スマートフォン普及啓発事業）
--

目 的：東京都主催の事業「高齢者スマートフォン普及啓発事業」における取組の1つとしてスマホ相談会を開催。行政手続きのデジタル化推進とともに、誰一人取り残すことのないデジタル社会の形成を目指すことを目的として実施した。

日 時：①令和5年5月23日(火) ②7月25日(火) ③9月26日(火)
④令和6年1月23日(火)

対 象：一般都民

人 数：①16人 ②14人 ③4人 ④17人

費 用：無料

まとめ：関戸公民館主催で実施したスマホサロンを偶数月での開催としていたことと合わせ、本相談会を奇数月で設定することにより、市民がスマートフォンの基本操作について学ぶ機会を定期的に設定することができた。

その他連携事業（関戸公民館）

参加・体験・感動！ふれあいこどもまつり
（東京都・（公財）東京都歴史文化財団・同実行委員会との共催事業）

目 的： 子どもたちが楽しめる児童演劇を中心とした、ホールでの舞台公演及びワークショップを実施する。関戸公民館では会場の提供、市広報等のPRなどにより、本事業の共催を行った。

日 時： （ふれあいこどもまつり）令和6年3月2日(土)・3日(日)
（プレイベント） 令和6年2月3日(土)・4日(日)

出 演： 別表参照

対 象： 3歳以上

人 数： （ふれあいこどもまつり）611人
（プレイベント） ①168人 ②171人

費 用： 別表参照

まとめ： 子どもたちが芸術についての理解を深め、表現や創造の楽しさを実感するとともに、他者への関心・想像力を育て、文化を生み出す豊かな心と感性を育む機会の創出につながった。

また、実演団体の公演やワークショップだけでなく、市民企画による無料プログラムもあわせて実施することにより、経済的事情のある子どもたちでも参加できる機会をつくることができた。

このほか、2月3日(土)・4日(日)に開催された「せいせき桜ヶ丘ラスカル子ども映画祭」での一企画として、関連パフォーマーによるプレイベントも実施した。

別 表

■ プレイベント（せいせき桜ヶ丘ラスカル子ども映画祭／無料プログラム）

日付	演目	会場
①2月3日(土)	道化師びりのどたばたコメディショー	市民ロビー
②2月4日(日)	みてやってわらってチカパンのパントマイム	

■ 公演・ワークショップ（有料プログラム）

3月2日(土)

ジャンル	団体名・演目	会場	料金
公演	太鼓と芝居のたまっ子座 太鼓ライブ「道草ドンどこ」	ヴィータホール	前売：2,000 円

3月3日(日)

ジャンル	団体名・演目	会場	料金
公演	アートインAsibina 音楽劇 モチモチの木～箏の二重奏にのせて～	ヴィータホール	前売：2,000 円
公演	人形劇団ひばりあむ こいぬの兄妹「チップとチョコ」	大会議室	前売：1,500 円
公演	タムオフィス アラマせんせいとげんごろうのことばあそびのたび	大会議室	前売：1,500 円
ワークショップ	アートインAsibina 演劇のチカラで 楽しく安全に！問題解決レッスンをワークショップで！	第3学習室	1人1,000 円
ワークショップ	蒼い企画 トーンチャイムで響きあおう！～サクソフォン奏者中川美保と合奏体験～	第3学習室	1人1,000 円

■ 市民企画（無料プログラム）

3月2日(土)・3日(日)

イベント名	ふれあいこどもまつり「あそぼう！体験しよう！」コーナー
内容	【3月2日(土)】 こま、けん玉ほか 【3月3日(日)】 塗り絵、折り紙、絵手紙、科学あそび、バルーンアート、こま、けん玉、皿回し、ボッチャ、読み聞かせ、エコベル演奏他
会場	市民ロビー

その他連携事業（関戸公民館）

その他連携事業「都民寄席」 （東京都、（公財）東京都歴史文化財団との連携事業）
--

目 的： 東京都主催の事業「都民芸術フェスティバル」における演目の1つである落語について、関戸公民館にて実施してもらうことにより、広く都民に鑑賞の機会を提供するとともに、市内外に関戸公民館を広く周知することを目的とする。

日 時：令和6年1月27日(土)13時30分～15時10分

出 演：

- ・長井好弘（解説）
- ・柳亭市助（開口一番）
- ・雷門小助六「抜け雀」
- ・ねづっち／漫談
- ・柳亭市馬「らくだ」
- ・金山はる／お囃子

対 象：一般都民

人 数：188名

費 用：無料

まとめ：応募状況は定員206名に対して10倍の高倍率となった。また、206名のうち、多摩市民は76名が当選し、落語を楽しむ機会を提供することができた（市民当選率39%）。市内外問わず、多くの方に関戸公民館に来館いただき、落語の鑑賞機会を提供することを通して、当館の認知度向上に寄与できたと考える。

その他連携事業（関戸公民館）

その他連携事業「関戸公民館 50 周年記念事業 牧野富太郎と多摩展」 （公財）多摩市文化振興財団との連携事業

目 的：牧野富太郎氏は多摩地域で数多くの植物採集を行い、関戸（多摩川）にも足を運んでいる。そのため、令和 5 年 5 月にパルテノン多摩で開催された「特別展 牧野富太郎と多摩展」を関戸の地にある関戸公民館においても展示を行い、聖蹟の地でも植物採集が行われたことを地域の方々に知ってもらう。また、植物学、植物観察や植物採集に興味を持つ機会を提供するとともに、新住民に関戸公民館を広く周知することを目的とする。

日 時：令和 5 年 8 月 8 日（火）～20 日（日）

展示内容：①日本の近代植物学の父ともいわれる牧野氏の人物像、牧野氏と同郷（高知県佐川町）出身で旧聖蹟記念館の設立に尽力した田中光顕なども併せて紹介し、牧野氏と多摩の縁を知る。

②牧野氏の植物採集の軌跡については「牧野富太郎植物採集行動記」にまとめられており、多摩市を含む多摩地域にあししげく訪れていることが明らかになっている。訪れた場所や採取した植物、どのような発見があったかなどを紹介する。

対 象：一般

人 数：1,339 名

費 用：無料



まとめ：事業計画では 8 日（木）から 16 日（金）までの 9 日間であったが、入場者が想定より多かったため 20 日（火）まで展示期間を延長した。

また、アンケート（回収 89 件）では「関戸公民館の利用は初めて」の方が 33% であるとともに、市外からの来場者が 36% と市内外に当館の認知度を上げることができた。

また、今後とも機会を捉えてパルテノン多摩との連携事業により質の高い展示を行い、市内外に関戸公民館を知る機会を提供していきたい。

その他連携事業（関戸公民館）

その他連携事業 こどものまち たま～Co-tama 2024
（チームミニたまとの連携事業）

目 的： 小学3年生～中学3年生を対象に、仮想のまちでの職業体験・自治運営を通して、①自分たちで自由に考え、自主的にやってみること ②仲間との協力や衝突を通して人と繋がること ③自治の仕組みづくりに参加することを学ぶ。

日 時：令和6年2月10日(土)～12日(月) 10:00分～16:30

対 象：小学3年生～中学3年生

人 数：延べ185名

費 用：無料

まとめ：職業体験イベントにとどまらず、「まちづくりへの参画」体験を促すための仕掛けとして、まちなかの課題について子どもたち同士で話し合い、解決策を考えるタウンミーティングなどを導入するなど、子どもたちが地域に関心を持つきっかけづくりにつながった。



その他事業（関戸公民館）

多摩市公民館 50 周年記念事業 「デジログ運動会～ゲーム&スポーツ大会～」

目 的：多摩市公民館は今年で 50 周年を迎える。この機会を契機と捉え、現代における多様な学習や交流手段を取り入れ、同じ空間・時間を共有し、直接的な交流を通してお互いに学びあう体験価値の創出を試みるべく、e スポーツとアナログゲーム（ボードゲームまたは身体を使ったゲームなど）を組み合わせた運動会形式の事業を実施した。

e スポーツは、2023 年 6 月に、初の IOC（国際オリンピック委員会）主催による世界大会が開催されるなど、世界的にも注目が集まっている。また、日本の Z 世代（1990 年代半ばから 2010 年代序盤生まれの年齢層の者）の約 8 割がゲームを経験し、1 週間における平均消費時間は約 7 時間ともいわれており、特に若者の日常生活において広く浸透しているコンテンツである。また、e スポーツは高齢者についても認知能力の改善など健康効果が期待されるという研究結果も出ている。このことから、e スポーツは若者を基点とした、多世代交流によるコミュニティの形成に寄与することが期待されるコンテンツと考えられる。また、ボードゲームなどのアナログゲームについても、比較的中・高齢者から高齢者世代の日常生活に長く浸透しているとともに、昨今再び注目を集めている。それぞれの世代がなじみやすい「あそび」を組み合わせ、参加者間の交流を促し、つながりをつくる契機となった。

日 時： 令和 6 年 3 月 10 日(日) 14:00～16:00
関戸公民館ヴィータホール・市民ロビー

対 象：一般市民

人 数：32 名

費 用：無料

まとめ：定員が 32 名であることを前提としてプログラムを構成していたため、当日キャンセル等の懸念もあったものの、無事に集まり、事業を実施することができた。アンケート結果は「とても楽しかった」が 83%、「楽しかった」が 6% と好評だったことがうかがえる。参加した世代は 10 代以下が約 8 割弱と多くを占めていたが、30 代～50 代の参加者も一定数おり、実際に様々なゲームを通して、世代を超えて会話やコミュニケーションを取っている様子が多くみられ、多

世代交流の機会創出につながったと評価している。

また、公民館職員のみで企画運営するのではなく、児童館職員、大学生・高校生ボランティア等多様な主体に協力してもらったことで、企画時の遊びの選定、運営時の参加者へのサポート等により、より多くの多世代交流の機会を創出できたと考えている。

【講座の様子】



3. 管理・運営

(1) 永山公民館施設使用状況

開館日数		休館日数
平日	220	29
土	50	
日・休	67	

施設	使用可能 件数	一般	市役所 関係	主催	計	使用率	使用人数
ベルブホール	1,011	342	108	119	569	56.3%	24,469
第1音楽室	1,011	835	22	13	870	86.1%	9,525
第2音楽室	1,011	677	2	10	689	68.2%	2,027
集会室	1,011	805	13	47	865	85.6%	13,220
学習室	1,011	785	5	18	808	79.9%	5,862
視聴覚室	1,011	614	50	59	723	71.5%	9,024
創作室	1,011	639	1	24	664	65.7%	4,714
和室	1,011	812	15	19	846	83.7%	4,826
第1保育室	1,011	39	2	120	161	15.9%	1,975
第2保育室	1,011	61	13	82	156	15.4%	1,495
ギャラリー	1,011	433	113	180	726	71.8%	-
計	11,121	6,042	344	691	7,077	63.6%	77,137

(2) 関戸公民館施設使用状況

開館日数		休館日数
平日	222	27
土	52	
日・休	65	

施設	使用可能 件数	一般	市役所 関係	主催	計	使用率	使用人数
ヴィータホール	1,017	314	74	131	519	51.0%	28,876
大会議室仕様	428	162	160	106	428	100.0%	5,367
第1学習室	741	302	6	6	314	42.4%	3,172
第2学習室	741	224	23	13	260	35.1%	2,709
第3学習室	1,017	636	56	18	710	69.8%	6,731
和室1	1,017	477	19	27	523	51.4%	3,497
和室2	1,017	404	14	27	445	43.8%	1,800
茶室	1,017	222	6	17	245	24.1%	1,587
創作室	1,017	541	14	71	626	61.6%	5,137
スタジオ	1,017	776	1	13	790	77.7%	6,431
保育室	1,017	29	17	59	105	10.3%	587
ギャラリー	1,017	234	114	150	498	49.0%	-
計	11,063	4,321	504	638	5,463	49.4%	65,894

令和5年度（2023年）公民館事業報告書

発 行 多摩市立永山公民館
〒206-0025 多摩市永山1-5
TEL. 042-337-6661

多摩市立関戸公民館
〒206-0011 多摩市関戸4-7-2
TEL. 042-374-9711